

2019年度

(学生団体)

福島大学災害ボランティアセンター
活動報告書



平成 31・令和元年度活動報告書 目次

はじめに	1
1. 福島大学災害ボランティアセンターの各事業	3
(1) 避難指示解除地域での生活復興支援活動及びコミュニティづくり	3
☆南相馬市ボランティア活動センターを通じたニーズ対応活動	
☆浪江町帰還者の健康づくり	
☆「お散歩隊」「声掛け顔見知り訪問」(新規)	
☆帰還困難区域の実況見分	
(2) 復興公営住宅・見なし仮設居住者の生活支援活動及びコミュニティづくり	5
☆交流スペースを使った住民交流・コミュニケーション支援活動	
☆住民との季節の親睦活動	
☆復興公営住宅表団地の学生食堂(新規)	
☆健康作り・介護予防活動	
☆その他	
(3) 生活再建先での子どもたちへの寄り添い活動	13
☆南相馬市小高区児童・生徒の長期休み期間の学習支援とレクリエーション	
「小高フリースペース」	
☆桑折駅前復興公営住宅での学習支援活動	
☆桑折駅前復興公営住宅での「子どもの時間」	
☆石倉復興公営住宅での学習支援活動	
☆北沢又・北沢又第2復興公営住宅での学習支援活動	
☆「放課後なみえ子どもクラブ」なみえ創成小学校・中学校での学習支援活動、 及び学校行事への協力	
☆「チームなみえ G&B」の子ども祭り、社会科見学などへの協力	
(4) 帰村地域での村づくり活動	22
☆田村市都路地区の人交流事業(通称「学生 DASH 村」)	
(5) 復興のまちづくり事業	26
☆新地町「防集団地コミュニティガーデン事業」(新規)	
(6) 福島の風評被害軽減・産業復興サポート活動	27
☆前橋芋煮会	
☆いか人参プロジェクト(新規)	

(7)	次世代育成学びのサポート活動……………	28
	☆高校の研修旅行、学習活動の受け入れ	
	《大分県立佐伯鶴城高校のSSH研修》	
	《松陵中学校での足湯講習会》	
	《所沢西高校の吹奏楽部演奏会の調整》	
	《甲府東高校研修会》	
(8)	福島の子どもたちへの健全な交友づくりサポート活動……………	30
	☆「第7回集まれ！ふくしま子ども大使」	
(9)	子どもの力支援……………	34
	☆「第5回ふくしまネイチャリングキャンプ」	
(10)	子どもの発達・遊び支援……………	37
	☆米沢市での活動	
(11)	福島元気発信活動……………	38
	☆「和紙キャンドルガーデン-TOHOKU2020-」	
(12)	台風19号災害支援ボランティア……………	38
(13)	災害に関する他団体・企業との共同活動……………	43
	☆「味の素」との料理教室	
(14)	災害援助及びその活動に関する情報提供、啓発活動、報告活動……………	44
	☆マレーシアからのお客様と福大マレーシア留学生との情報交換交流	
	☆福島大学オープンキャンパス	
	☆福島大学校友会ホームカミングデイ	
	☆第3回福島県環境創造シンポジウム	
(15)	福島大学が行う災害に関する各事業への協力……………	45
	☆「東日本大震災 福島大学の記憶」	
(16)	ボランティア登録者への呼びかけと登録者のフォローアップ……………	45
	☆サークルオリエンテーションと新歓活動オリテ	
	☆新登録者向けの「災ボラステップアップ月間」	
	☆「災ボラ Days」	
	☆ボランティア保険申請の取り次ぎ、取りまとめ	
(17)	センター運営及びボランティア活動資金の調達の取り組み……………	48
	☆企業への働きかけ（新規）	
	☆寄付・物品の寄贈	
	《ご芳名一覧》	
	☆外部助成の申請	

☆大学祭への出店	
☆その他	
(18) 外部団体との連携	50
☆県外学生との協働調整ネットワーク	
☆県外大学等のボランティア協働活動・要請の受け皿	
☆各ボランティアセンター、行政との連携	
(19) 広報活動に関して	51
☆英語版HPの作成	
☆学内災ボラ掲示コーナー	
☆メディア掲載履歴	
(20) その他	52
☆災害ボランティアセンターOB・OGの会設立へ（新規）	
2. 平成31年度・令和元年度の活動一覧	53
3. 平成31年・令和元年度マネージャー一覧	64
おわりに	66

はじめに

ゼネラルマネージャー 坂本 奨
(行政政策学類 4年)



2011年3月11日に発生した東日本大震災から9年もの月日が経過しました。当時中学1年生だった私が大学を卒業すると考えるととても長い時間だったと感じます。(学生団体)福島大学災害ボランティアセンターはその間絶やすことなく活動を続けてきました。それは多くの方々のご支援・ご協力のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。

今年度は昨年度から引き続き復興公営住宅でのサロン活動を継続的に行ってきました。多くの復興公営住宅において学生と住民の関係を築くことができていると感じています。しかし、その一方でサロンに参加しない住民の方との関係づくりという点では正直まだまだ足りないところが多いというのが反省点として挙げられます。復興公営住宅における孤立死を防ぐためには、サロンに参加してくれる方々を大切にしながらも参加していない人たちとも関係づくりをしていく必要があります。具体的には積極的に戸別訪問を行い、より密に、小さい単位で住民の方々との関係づくりに取り組んでいくことが重要であり、そこに取り組んでいきたいと思えます。

復興公営住宅においては子供達に対する学習支援に取り組んできました。今年度からは私たちの主催で行ってきた学習支援もあります。復興公営住宅に住む子供達のニーズに応えるという点で非常に重要な活動です。

2016年に避難指示が解除された田村市都路地区で行っている学生 DASH 村では拠点の整備を進め、住民の方々が自由に使える交流スペースが次第にできてきています。当初から目標としていた地域の交流スペースづくり、地域住民との関係づくりということが着々と進められています。

そして今年度、最も大きかった出来事は「台風 19 号」被害です。凄まじい規模の台風 19 号が 2019 年 10 月福島を襲いました。阿武隈川流域の広範囲で一部が決壊し、福島県内の多くの地域で甚大な被害が発生し、23 名の人命も失われました。私たちは泥出しや家屋の片付け、避難所における足湯、炊き出し活動を行いました。改めて災害の恐怖を感じたのと同時に私たちにできることは何なのかということを考えさせられる契機となりました。

さて、来年度私たちの活動は 10 年目を迎えることとなります。10 年目に入り、福島や被災者の方々を取り巻く状況はさらに変化していくことが予想されます。しかしながら私たちとしては 10 年目という区切りをつけるのではなく、「孤立死を出さない」という理念

を変えず、今後も被災者の方々に寄り添い、被災者の方々が求めていること、さらには未来のことを予想しながら今何をすべきなのかを検討し様々な活動を展開していくべきだと考えています。

2019年度の私たちの活動は良い意味でも悪い意味でも「現状維持」という感覚に近いものでした。東日本大震災から9年が経ち、皆の心の中で東日本大震災に対する思いが薄まっていくことは当然であり、仕方がないことだと私は思います。だからこそ、今一度なぜ私たちの活動を行っているのかをしっかりと確認することが大事だと思います。そうすれば自ずと自分たちが今何をすべきなのかということが見えてくると思います。

私たちの活動の向こう側には被災者の方々がいることを忘れず、現状に甘んじることなく、常に自分たちにできること、やるべきことに対してしっかりとアプローチをしていく。そのような勢いとスピード感、積極性を持ってより一層活動に力を入れていただきたいと卒業する者として思っています。

最後になりますが、私たちと一緒に活動、または私たちに対しご支援を頂きました各大学の大学生、大学関係者の皆様、各種団体様、活動の広報をあらゆる面でくださったメディアの皆様、その他様々な場面でご支援していただいた方々に対してこの場をお借りして、心から御礼申し上げます。今後も（学生団体）福島大学災害ボランティアセンターをよろしくお願い致します。

令和2年3月25日

（本来ならば卒業式があった日：新型コロナウイルス感染症対策で中止）

1. 福島大学災害ボランティアセンターの各事業

(1) 避難指示解除地域での生活復興支援活動及びコミュニティづくり

☆南相馬市ボランティア活動センターを通じたニーズ対応活動

南相馬市ボランティア活動センター¹の調整による津波被害に対する復興支援は、発災直後から続いています。初期は津波浸水地域での家屋や道路・田畑水路の泥かき作業が主で、その後避難指示期間中は、室内がれきの分別・使用不可能となった屋内処分物の運び出し・避難中の家屋の清掃が主たる内容でした。小高区が避難指示解除後最近では、留守家庭や畑に生い茂った雑草・雑木・竹の伐採、帰還に備え家の再建を見越した廃棄物の処理や高齢者世帯の家の片付けが主なニーズとなっています。今年度は3回の活動(計画では6回)にとどまりましたが、引き続き小高区での活動を行いました。

【活動場所】

南相馬市小高区

【活動日時・活動人数】

6月23日(日):4名

9月15日(日):4名

11月10日(日):5名

【活動内容】

民家の小屋の整理や、放棄地となった場所の草刈り

【活動者の声】

○乗原祐樹(経済経営学類2年)

小高区での支援活動には、1年生の頃から参加させてもらっています。現地のボランティア活動センターにあるスローガンには「やれる人がやれる時にやれる事をする」と書いてあります。まさにこのスローガンは大事な点であると私自身も考えていて、実際に活動を行ってみると大変なものが多いです。特に学生は機械の使い方から学ばないと作業を行えないので大変です。

しかし、この言葉にあるようにやれる事をするのが重要だと考えています。学生は学生なりに経験は少ないものの体力があります。そういった点を生かし、継続的に参加するこ

¹ NPO法人「災害復興支援ボランティアネット」が運営するセンター。東日本大震災直後より、南相馬市社会福祉協議会委託団体として、南相馬市の災害ボランティア活動のマッチング活動等を行ってきた(当時は「仲町ボランティア活動センター」)。2012年南相馬市小高区の警戒区域解除後、小高に拠点を移して現在に至る。

とによる知識向上等でカバーできる面があると思います。

こういった活動には、継続的に参加することが重要になってくると考えていますので、来年度も身の丈にあった回数を行えるように活動を行いたいと思います。



☆浪江町帰還者の健康づくり

浪江町社会福祉協議会の健康づくり活動の一環で取り組まれている「健康体操サロン」に参加しました。私たちが仮設住宅等で取り組んできたカラオケ体操プログラム「JOYBEAT」を活用しているため、引き続きパートナー役として参加しています。町に戻った人々との交遊の場ともなっています。

【活動日時：活動場所：活動人数】 場所はいずれも浪江町権現堂集会所。

- 9月24日(火) (活動参加者5名)
- 11月12日(火) (活動参加者5名)
- 11月19日(火) ※芋煮会も兼ねて実施。(活動参加者4名)
- 2月25日(火) (活動参加者5名)

☆「お散歩隊」「声掛け顔見知り訪問」(新規)

過去に仮設住宅等で顔見知りになった方々への帰宅先への訪問。今年度から新規活動として位置付けました。

【活動日時：活動場所：活動人数】

- 2月14日(金) 旧飯野小学校跡地仮設住宅(飯館村)でお世話になった方々へのバレンタインお散歩隊(2人で訪問)
- 3月14日(土) 飯館村帰村者(2人で自宅訪問)

☆帰還困難区域の実況見分

- 3月14日(土) 浪江町にて、JR常磐線全線開通に合わせ、浪江から富岡まで乗車。その後、富岡町、大熊町、双葉町の特定復興再生拠点区域の見分。双葉駅の町役場出張所で職員からの状況説明を受けました。(3名)
- 3月22日(日) 大熊町、双葉町の特定復興再生拠点区域の現地踏査(4名)

(2) 復興公営住宅・見なし仮設居住者の生活支援活動及びコミュニティづくり

☆交流スペースを使った住民交流・コミュニケーション支援活動

震災以降継続して行ってきた足湯に加え、カラオケや季節の折り紙など住民の方に楽しんでもらえるようなサロン活動(「福茶サロン」)を行いました。また、「みんぷく」²さんや復興公営住宅自治会のお茶会や親睦会で、住民の皆さんとの楽しいひと時を過ごせるよう参加お手伝いをしました。

今後は『みんぷく』さんや『ビーンズふくしま』さんなど各NPO法人が各団地での活動を終了しつつある中、これからも住民の方のニーズに合った活動を行っていきたいと思っています。

【活動日時：活動場所：活動人数】

- 4月20日(土)：復興公営住宅北沢又団地：7人：花より団子スペシャル
- 4月27日(土)：復興公営住宅北中央団地：7人：折り紙
- 4月28日(日)：復興公営住宅北沢又第二団地：6人：カルタ大会

² 「生活拠点コミュニティ形成事業」を福島県から受託しているNPO法人

5月4日(土):復興公営住宅飯坂団地:4名(健康体操兼ねる)
5月18日(土):復興公営住宅飯坂団地:6名(健康体操兼ねる)
5月19日(日):復興公営住宅北沢又第二団地:9名:たこ焼きパーティー
5月25日(土):復興公営住宅北中央団地:7名:お手玉づくり
6月1日(土):復興公営住宅飯坂団地:7名:足湯(健康体操兼ねる)
6月15日(土):復興公営住宅飯坂団地:5名:ポッチャ(健康体操兼ねる)
6月15日(土):復興公営住宅北沢又団地:5名:ピンポン大会
7月6日(土):復興公営住宅飯坂団地:1名:おしゃべり(健康体操兼ねる)
7月13日(土):復興公営住宅北沢又第二団地:4名:おしゃべり、ジャンケンゲーム
7月14日(日):復興公営住宅北沢又団地:6名:足湯
7月20日(土):復興公営住宅飯坂団地:2名:おしゃべり(健康体操兼ねる)
7月27日(土):復興公営住宅北中央団地:6名:スイカ割り(健康体操兼ねる)
8月10日(土):復興公営住宅飯坂団地:2名(健康体操兼ねる)
8月21日(水):復興公営住宅富田団地:2名:足湯
8月24日(土):復興公営住宅北中央団地:3名
9月7日(土):復興公営住宅北沢又第二団地:4名:足湯、折り紙、バルーンアート
9月7日(土):復興公営住宅飯坂団地:3名:焼きそばづくり(健康体操兼ねる)
9月14日(土):復興公営住宅北沢又団地:4名:
9月14日(土):復興公営住宅北中央団地:3名:折り紙
9月18日(水):復興公営住宅日和田団地:2名:一閑張り教室
10月5日(土):復興公営住宅飯坂団地:4名:芋煮(健康体操兼ねる)
10月6日(日):復興公営住宅吹上団地:4名:トランプ
10月19日(土):復興公営住宅飯坂団地:2名(健康体操兼ねる)
10月24日(木):復興公営住宅石倉団地:2名:カートレット
10月26日(土):復興公営住宅北沢又団地:3名:おしゃべり
11月16日(土):復興公営住宅北沢又第二団地:4名:足湯
11月23日(土):復興公営住宅北沢又団地:4名:やきとり
11月28日(木):復興公営住宅石倉団地:2名:お茶会
12月14日(土):復興公営住宅北中央団地:7名:おしゃべり(健康体操兼ねる)
12月19日(木):復興公営住宅石倉団地:1名・お茶会
12月21日(土):復興公営住宅北沢又団地:6名:お楽しみケーキ作り
1月15日(水):復興公営住宅日和田団地:1名:マミーすいとんづくり
2月15日(土):復興公営住宅北沢又団地:3名:バレンタイン大作戦、足湯、卓球
2月22日(土):復興公営住宅北沢又第二団地:4名:折り紙
2月29日(土):復興公営住宅北中央団地:6名:ひな人形の折り紙

【活動者の声】

○細沢勇生（経済経営学類 1 年）

飯坂団地福茶サロンには初めて訪れました。飯坂団地の方々はとても明るく、すぐにお話しすることができ、とても楽しく参加できました。健康体操では、体操するときに声を出しながら元気に行っていました。また、サロンの途中で住民の方々からポッチャを行おうという提案があったため、私たち大学生も 2 チームに分かれました。1 点を争う好ゲームでとても白熱した試合でした。これからも福茶サロンに参加していきたいと思います。



☆住民との季節の親睦活動

福島大学ボランティアセンターでは、季節の変化を感じ取れるような四季折々の活動を多くの復興公営住宅で行っています。今年度の復興公営住宅での季節の活動は、NPO 法人の「みんぷく」と自治会が計画した活動に、お手伝いという形で福島大学災害ボランティアセンターが関わることが多かったですが、遠足など外出機会をつくって普段の生活にメリハリを作るといった提案もしたりしました。こういった季節の活動は参加する住民の人数も多く、普段なかなか顔を合わせることでできない住民同士の交流の場として機能しています。

【活動日時・活動場所・活動人数・活動内容】

●春 季

- 4月6日(土)：復興公営住宅飯坂団地：5名：お花見会
- 4月13日(土)：復興公営住宅吹上団地：6名：お花見会
- 4月14日(日)復興公営住宅石倉団地：5名：お花見会
- 4月20日(土)：復興公営住宅飯坂団地：13名：花見山春の遠足

●夏 季

- 6月22日(土)：復興公営住宅北沢又第2団地：4名
：ミニ遠足(土湯散策、ローズガーデン)
- 7月20日(土)：復興公営住宅日和田団地：2名：納涼祭
- 7月27日(土)：復興公営住宅守山駅西団地：2名：納涼祭
- 7月28日(日)：復興公営住宅壁沢団地：3名：夏祭り
- 8月3日(土)：復興公営住宅北沢又団地：7名：夏祭り
- 8月4日(日)：復興公営住宅表団地：3名：夏祭り
- 8月11日(日)：復興公営住宅吹上団地：4名：夏祭り
- 8月17日(土)：復興公営住宅石倉団地：4名：夏祭り
- 8月18日(日)：復興公営住宅平沢団地：4名：納涼祭
- 8月25日(日)：復興公営住宅南町団地：3名：夏祭り

●秋 季

- 10月19日(土)：復興公営住宅北沢又団地：5名：芋煮会
- 10月20日(日)：復興公営住宅守山駅西団地：3名：芋煮会
- 10月20日(日)：復興公営住宅平沢団地：2名：芋煮会
- 10月20日(日)：復興公営住宅：4名：芋煮会
- 10月27日(日)：復興公営住宅横堀平団地：3名：芋煮会
- 11月16日(土)：復興公営住宅吹上団地：3名：芋煮会
- 11月17日(日)：富岡町さくらサロン³：4名：芋煮会

●冬 季

- 12月8日(日)：復興公営住宅守山駅西団地：2名：クリスマス会・望年会⁴
- 12月12日(木)：復興公営住宅日和田団地：2名：クリスマス会
- 12月14日(土)：復興公営住宅石倉団地：4名：望年会

³ 富岡町から県北地方に避難した民間借り上げ住宅(見做し仮設)避難者の自治会「富岡町県北地域自治会」の拠点としている場所

⁴ 2011年末、次の年を希望の年にしようと「仮設住宅望年会」プロジェクトを立ち上げ、以来災ボラ内では「忘年会」を「望年会」と表現している。

- 12月15日(日): 復興公営住宅桑折駅前団地: 8名: 子どもクリスマス会
 12月22日(日): 復興公営住宅吹上団地: 4名: クリスマス会
 12月22日(日): 復興公営住宅北沢又第二団地: 3名: クリスマス会
 12月24日(火): ラ・ポートあだち: 6名: 復興公営住宅根柄山団地・石倉団地・表団地合同クリスマス会
 12月24日(火): 富岡町さくらサロン: 4名: クリスマス会
 12月28日(土): 復興公営住宅横堀平団地: 3名: 餅つき会
 1月19日(日): 復興公営住宅吹上団地: 2名: 新年会
 1月19日(日): 復興公営住宅守山駅西団地: 3名: 新年会
 1月19日(日): 富岡町さくらサロン: 5名: 新年会
 1月19日(日): 復興公営住宅平沢団地: 3名: 新年会
 1月19日(日): 復興公営住宅表団地: 3名: 餅つき会
 1月25日(土): 復興公営住宅北中央団地: 7名: 新年会
 2月2日(木): 復興公営住宅石倉団地: 1名: 手巻き寿司交流会
 2月23日(日): 復興公営住宅表団地: 5名: 手巻き寿司作り
 2月27日(木): 復興公営住宅石倉団地: 3名: 絆まつり

【活動者の声】

○榎谷 香織(行政政策学類1年)

私は表団地での餅つき会に参加しました。表団地での活動に参加するのは初めてだったのですが、住民の方々が私たちをととても優しく迎えてくださり、楽しく活動することができました。お餅つきでは、お雑煮の他にあんこやきな粉などの味のお餅が用意されていて、子どもから大人まで、楽しみながら食事することができました。地域の方々とお話ししながら食事をするのは普段の生活ではなかなかできないため、とても良い経験になりました。お餅つきのような季節のイベントがあることで、子どもや地元高校生、大学生、そして団地の住民の方々とといった幅広い年代で交流を図ることのできる機会があるのは素敵だと思いました。今後また機会があれば、他の活動にも参加していきたいと思います。





☆復興公営住宅表団地の学生食堂（新規）

復興公営住宅での住民交流活動の一環とも言える活動ですが、今年度その中でも二本松の復興公営住宅表団地「学生食堂」への参加協力という新しい形の活動が定着しました。この「学生食堂」は、一般社団法人「ちろる」さんが主催しており、「安達高校」の生徒さんと住民の皆さんとでお料理作りをして、皆で食事をするというスタイルの交流会です。前年度から「安達高校」の生徒さんが先行して行っていました。活動定着のために「ちろる」さんから4月に、大学生と協力し合いながらできないだろうかとお声掛けがありました。また、「ちろる」さんとしては、高校生らがボランティアになじむ仲立ち役に大学生がなってくればというお話でもありました。私たちも、以前から表団地の方々とのお付き合いがなかったわけではありませんが、この活動によって一層近い関係になったと感じています。高校生と大学生の新たなパートナーシップが生まれ、そして住民の皆さんが料理と「食」を通して活発な交流が進められたと思います。

【活動日時、活動人数】

5月29日（水）： 4名：（すいません記録がありません）
6月19日（水）： 4名：親子丼

- 7月27日(水) : 3名 : 牛丼 ※福島介護福祉専門学校も参加
 9月27日(水) : 2名 : キーマカレー
 10月23日(水) : 2名 : チンジャオロース
 11月20日(水) : 3名 : シーフードカレー
 12月26日(水) : 4名 : ポークカレーとケーキ作り
 1月29日(水) : 3名 : キーマカレー
 2月26日(水) : 3名 : 牛丼



☆健康作り・介護予防活動

2014年より株式会社エクシング⁵から機材およびシステムを提供いただいて、仮設住宅や復興公営住宅を中心とした場所で「JOYBEAT」というカラオケ体操プログラムを行ってきました。「JOYBEAT」とはテレビに映した映像と流れる音楽に合わせて、椅子に座ったままでも体操をすることが出来るものです。目的は運動不足の解消はもちろん、引きこもりの防止や介護予防や、住民同士・住民と学生の交流の場としての役割を持っています。

この活動が住民の方々のサークル活動の一環として定着している復興公営住宅・帰還地域(浪江町)もあり、そこに学生が参加させてもらおうといった形をとりました。そこでは住民が主体性を持っていて、一方的な支援とは違う形がとれています。

【協力】

・株式会社エクシング ・浪江町役場

【活動日時、活動場所、活動人数】

5月4日(土)：復興公営住宅飯坂団地：4名 (福茶サロン兼ねる)

⁵ 通信システム開発を主業務とする。カラオケ通信システム「JOYSOUND」は有名であろう。「JOYBEAT」はもともと学校教育にダンス授業が導入されることで開発されたシステムだが、東日本大震災で高齢者の健康増進に応用できないかと、福大災ボラに白羽の矢が立てられ1年間モデルとなって試用した。その結果、商用化された。福島県の県民アプリにも使われている。

5月18日(土):復興公営住宅飯坂団地:6名 (福茶サロン兼ねる)
5月25日(土):復興公営住宅北沢又団地:7名
6月1日(土):復興公営住宅飯坂団地:(福茶サロン兼ねる)
6月8日(土):復興公営住宅北中央団地:8名
6月15日(土):復興公営住宅飯坂団地:5名 (福茶サロン兼ねる)
6月29日(土):復興公営住宅吹上団地:7名
7月6日(土):復興公営住宅飯坂団地:1名 (福茶サロン兼ねる)
7月20日(土):復興公営住宅飯坂団地:2名 (福茶サロン兼ねる)
7月27日(土):復興公営住宅北中央団地:6名 (福茶サロン兼ねる)
8月10日(土):復興公営住宅飯坂団地:2名 (福茶サロン兼ねる)
8月24日(土):復興公営住宅北中央団地:3名
9月7日(土):復興公営住宅飯坂団地:3名 (福茶サロン兼ねる)
9月21日(土):復興公営住宅飯坂団地:2名
9月26日(木):復興公営住宅石倉団地:2名
10月5日(土):復興公営住宅飯坂団地:4名 (芋煮会兼ねる)
10月19日(土):復興公営住宅飯坂団地:2名 (福茶サロン兼ねる)
11月16日(土):復興公営住宅飯坂団地:4名
11月23日(土):復興公営住宅北中央団地:4名
12月7日(土):復興公営住宅飯坂団地:3名
12月14日(土):復興公営住宅北中央団地:7名 (福茶サロン兼ねる)
12月7日(土):復興公営住宅飯坂団地:3名
12月21日(土):復興公営住宅飯坂団地:5名
1月4日(土):復興公営住宅飯坂団地:1名
1月18日(土):復興公営住宅飯坂団地:3名
2月1日(土):復興公営住宅飯坂団地:5名
2月15日(土):復興公営住宅飯坂団地:4名

【活動者の声】

○乗原祐樹(経済経営学類2年)

「JOYBEAT」を利用した健康体操は、その日その時にあったプログラムを作成出来る事が利点と考えています。椅子を使用した軽い運動から立って行う難しめの運動など、それぞれのレベルに合わせて行うことが可能です。また、曲も随時更新され、飽きることなく行うことができます。プログラム中には、歌う部分が用意されていたり、掛け声が用意されていたりと声を出しながら体操を楽しむことができるようになっており、コミュニケーションの活性化を図れる作りとなっています。

「JOYBEAT」を通しての健康維持、コミュニティの活性化に今後とも貢献できるように継続的にこの活動を行いたいですし、参加したいと思います。



☆その他

- 9月6日（金）：県北復興公営住宅自治組織連絡会参加（福島市青少年会館）：1名
10月15日（火）：「みんぶく」主催の県北方部復興公営住宅親睦グランドゴルフ大会。
（十六沼公園）：3名
11月7日（木）：県中復興公営住宅自治組織連絡会参加（ミューカルがくと館）：1名
1月23日（木）：県中復興公営住宅自治組織連絡会参加（郡山市中央公民館）：1名

（3）生活再建先での子どもたちへの寄り添い活動

☆南相馬市小高区児童・生徒の長期休み期間の学習支援とレクリエーション「小高フリースペース」⁶

2012年夏から続いているこの活動は、この冬の開催で16回目を迎えました。震災当時から比べると学習環境は整ってきたものの、依然として小高区に戻ってきた子ども達の数多くありません。また、浜通り地域には、大学がないこともあり、大学生や若者と関わる機会が子どもたちには少ない。そのため、子どもたちにとって大学生の姿がライフモデルの一つとなることも目指しています。この活動には、多くの他大学生が参加してくれており、とりわけ明治大学は当初からのなじみが深く、大学生同士の良い交流の機会にもな

⁶ 家庭教師ボランティアのような教育ボランティアではなく、子どもたちのペースに合わせた自主学習をサポートする。時には実験をしたり外への見学会なども催したりしたこともある。また、勉強だけでなく子どもたちの時間の過ごし方すべてに寄り添うということから「フリースペース」という名付けをしている。

っており、東日本大震災の記憶を伝える良い機会ともなっています。

【協力】

「Odaka Micro Stand Bar」⁷（通称オムスピ）、小高区小中学校保護者の会

【活動場所】

南相馬市立小高小学校、小高交流センター

【活動期間】

夏季休業 8月4日（日）～8月9日（金） 計6日間

冬季休業 12月24日（火）～12月28日（土） 計5日間

【活動人数】

夏季 福島大学13名、明治大学24名、埼玉医科大学1名、白百合女子大1名、他専門
門学校・大学院生・社会人など18名 計57名

冬季 福島大学13名、明治大学15名、埼玉医科大学1名、白百合女子大1名、他専門
門学校・大学院生・社会人など17名 計47名

【活動内容】

子どもたちの学習指導、遊び支援

大学生の企画によるプログラム

夏季 ベットボトルロケットの発射実験と試験管を使ってアイスを作る実験教室(7
日、10日)、バーベキュー(10日)

冬季 クリスマス会(24日、26日)
豚汁とマフィンのお料理教室(25日)
餅つき(27日)

【活動者の声】

○乗原祐樹（経済経営学類2年）

私は、フリースペースには、1年生夏から4回毎回参加しています。今回、冬のフリースペースではプロジェクトリーダーを務めました。前述したように浜通りには大学生が少ないといった観点からいかに様々な経験を子どもたちに積ませてあげられるかが個人的な目標だったので、冬のフリースペースでは5日間のうち4日間を学生企画（実験教室、クリスマス会、餅つきなど）にあてました。子どもたちからは「楽しかった」という声と同時に「大学生の熱意を感じた」という声もあり、非常に充実した活動となりました。

⁷ 一般社団法人オムスピ「Odaka Micro Stand Bar」は、小高駅前にあるカフェ。店舗内に自習の場を設けたり、交流人口を増やす取り組みなどもしている。学生時代「フリースペース活動」に参加していたメンバーが「オムスピ」のスタッフとしてかかわっている。

一方で、子どもたちからは「もう少し体育館や校庭で遊ぶ時間が欲しい」という声もありました。他にも振り返りの際に、こんなものがあるといいなとか、こういうことを次回はしたいなとか様々なアイデアをもらったので、それを元に来年度も事業を展開出来たらと考えています。



☆桑折駅前復興公営住宅での学習支援活動

勉強の機会+大学生との関わりや他の学年とのかかわりを持つことによって子どもたちの心身の成長を目的として行っています。子どもたちに学校で出された宿題を持ってきてもらいそのサポートを前半に行い、後半はそれぞれの興味・関心に応じた遊び（鬼ごっこやジェンガ等）を一緒に行います。今年度から主催をNPO法人「ビーンズ福島」⁸から引き継ぐ形で私たち災害ボランティアセンターに変わりましたが、内容は昨年度までの「ビーンズ福島」さんをモデルにし、学習支援に取り組みました。

⁸ 「ビーンズ福島」は、もともと不登校のフリースクール活動を始まりとしている。震災後は避難児童の支援活動を行ったり、県外避難から帰ってきた人たちの支援も行っている。近年では「子どもの貧困」対応の「子ども食堂」の運営も行う。災ボラが協力している学習支援は「うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト」というものであるが、ビーンズが助成を受けるのは今年度で最後と聞いている。

【活動日時、活動人数】

5月17日(金):5名、 6月7日(金):5名、 6月21日(金):7名
7月5日(金):5名、 7月19日(金):5名、 9月6日(金):3名
9月20日(金):4名、 10月4日(金):1名、 10月18日(金):3名
11月1日(金):3名、 11月15日(金):2名、 12月6日(金):3名
12月20日(金):2名、 1月17日(金):2名、 2月7日(金):2名

【活動者の声】

○川村 美月(行政政策学類 3年)

自分から宿題を始めて終わってから遊ぶなど、子どもの成長を感じました。低学年の子や外で走り回る子が多いので、賑やかな活動になることが多かったと思います。ただ、今年度から災ボラ主催の活動だったので、ある程度学生がいた方が安心だと思える場面もありました。



☆桑折駅前復興公営住宅での「子どもの時間」

この活動は復興公営住宅桑折駅前団地にて、桑折駅前団地子ども育成会さんからの要請を受け、協力をいただきながら毎月第2日曜日に行ってきた活動で、今年が2年目となりました。趣旨としては、学習支援以外にも、子どもが子ども同士、あるいは大人との交流の場を持ち、文化等も学びつつ、周りとの協調性などを育むために行なっています。

【活動日時、活動人数、活動内容】

4月14日(日)	: 4名	: お花見気分
5月12日(日)	: 6名	: チーム対抗新聞ゲーム大会
6月9日(日)	: 5名	: 函工教室(キーホルダーづくり)
7月14日(日)	: 4名	: 夏休みスペシャル(夏まつり)
8月11日(日)	: 4名	: 水遊び
9月8日(日)	: 3名	: お月見団子を作ろう、なみえ焼そば作り
12月15日(日)	: 8名	: 子どもクリスマス会
1月12日(日)	: 3名	: お餅パーティー
2月9日(日)	: 3名	: 手巻き寿司パーティー

【活動者の声】

○竹内 瑛祐(経済経営学類2年)

昨年度から復興公営住宅桑折駅前団地にて「子どもの時間」を行い始めて、今年で2年目を迎えました。普段の学習支援とは異なって、よりイベント性を持たせたこの活動は、私たち学生にとっては改めて日本の文化に子供と一緒に触れる機会でありつつ、子供達同士交流を促進し、協調性を少しずつでも育むことができている活動だと感じています。今後も定期的な活動を通じて、子供達の成長を見守っていければと思います。



☆石倉復興公営住宅での学習支援活動

石倉復興公営住宅の学習支援は、桑折駅前復興公営住宅と異なり、引き続きNPO法人「ビーンズ福島」さん主催活動に協力する形で活動を行ってきました。来年度(2020年度)からは「ビーンズ福島」さんの助成終了に伴い、福大災ボラが引き継ぐかどうか検討をする予定になっています。

【活動日時、活動人数】

4月23日(火):4名、 5月7日(火):5名、 5月21日(火):4名
6月4日(火):5名、 5月18日(火):7名、 7月9日(火):4名
7月23日(火):4名、 9月3日(火):2名、 9月17日(火):4名
11月12日(火):3名、 11月26日(火):6名、 12月3日(火):5名
12月17日(火):2名、 1月14日(火):3名、 2月4日(火):2名
2月25日(火):2名

☆北沢又・北沢又第2復興公営住宅での学習支援活動

≪概要は、石倉復興公営住宅と同様≫

【活動日時、活動人数】

4月24日(水):3名、 5月15日(水):4名、 5月29日(水):4名
6月5日(水):5名、 6月19日(水):5名、 7月3日(水):2名
7月17日(水):1名、 9月11日(水):4名、 10月16日(水):4名
10月30日(水):4名、 11月13日(水):4名、 11月27日(水):4名
12月4日(水):3名、 12月18日(水):3名、 1月15日(水):2名
1月29日(水):2名、 2月26日(水):4名



☆「放課後なみえ子どもクラブ」なみえ創成小学校・中学校での学習支援活動、及び
学
校行事への協力

2018年11月から「チームなみえ G&B」⁹が主催で行っている「放課後なみえ子どもクラブ」に参加させていただき学習支援を行っています。主な活動内容としては、他の学習支援と同様に宿題のお手伝いや子ども達と一緒に遊んでいます。また、10月5日には、地域の人やボランティアも交えた「なみえ創成小・中学校・浪江にじいろこども園」¹⁰の合同運動会に参加し、運動会の準備や進行補助の協力を行いました。



【主 催】

・チームなみえ G&B、
浪江町立なみえ創成小学校・中学校

【実施場所】

浪江町立なみえ創成小学校・中学校

【活動日時・活動場所・活動人数】

- 4月23日（火）：なみえ創成小学校・中学校：2人
- 5月21日（火）：なみえ創成小学校・中学校：3人
- 6月19日（水）：なみえ創成小学校・中学校：4人
- 7月17日（水）：なみえ創成小学校・中学校：2人
- 10月5日（土）：なみえ創成小・中学校・浪江にじいろこども園合同運動会：5人

【活動者の声】

○林崎雪音（行政政策学類2年）

学習支援は、とても賑やかな雰囲気でした。前回参加したときよりも、天気がよく外で思いっきり遊ぶことができ、楽しく過ごすことができました。その中でも、子どもたち全員と会話することができ、名前を覚えていてくれたので、嬉しかったです。とても有意義な時間を過ごせました。

⁹ 浪江町の元気な「じい（G）ちゃん」と「ばあ（B）ちゃん」という意味で、浪江町へ帰った子どもたちを応援しながら会員自身たちも楽しむことを目的にして、新しい浪江コミュニティづくりをしています。

¹⁰ 2019年度の小学校在籍数は14人（前年度より6人増）、中学校は2名（増減なし）



☆「チームなみえ G&B」の子ども祭り、社会科見学などへの協力

2018年10月から「なみえ G&B」が主催で行っている、会員と子どもの交流プログラム等に協力をしています。この活動は子どもの健やかな育成や、「なみえ G&B」の会員と子どもたちがふれ合うことで温かい人と人とのふれ合いを大事にしていくことも目的としています。

【主催】

チームなみえ G&B、 浪江町立なみえ創成小学校・中学校

【実施場所】

浪江町立なみえ創成小学校・中学校、福島市、南相馬市小高区、飯館村、仙台市

【活動日時・活動場所・活動人数】

※8月10日（土）：第7回集まれ！子ども大使参加児童と、チームなみえ G&B・なみえ創成小学校児童との交流会

※福島の子どもたちへの健全な交友づくりサポート活動でも後述

8月23日（金）：肉多め焼きそばを作ろう：2人

9月29日(日): 社会科見学 with 浪江: 3人

: 仙台市利府新幹線基地、うみの杜水族館

11月16日(土): 浪江子どもまつり in 飯館村: 2人

12月7日(土): 浪江子どもまつり in 小高: 3人

12月15日(日): 福島市へ行こう! with 浪江: 4人

: 福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ」、県立美術館、リンゴ狩り

【活動者の声】

○織笠大地(経済経営学類2年)

子ども大使のときに交流した子どもたちや普段の健康体操でお世話になっている G&B の皆さん、以前の活動で一緒だった人など様々な人と、世代の垣根をこえて交流することができました。

この子どもまつりには去年に引き続き参加しましたが、とても活気があったように感じました。普段の活動でのお付き合いがものすごく生かされていると思ったため、これからも縁を大切にしたいです。



(4) 帰村地域での村づくり活動

☆田村市都路地区の人交流事業（通称「学生 DASH 村」）

田村市都路地区では、「東日本大震災」の原発事故の影響を受け、避難を余儀なくされました。その後の 2015 年 4 月に避難指示が解除され地区への帰還が実現しましたが、帰還後は人口減少と相まって、地区の高齢化も進んでいました。その中で元気に暮らす高齢者同士が昔のような日常のふれあいをしていきたいという思いにふれ、学生の往来によって少しでも賑わいを取り戻せたらと準備期間を経て 2016 年度から本格的に始めた活動です。

今年度は、それまでお借りしていた広い畑地をお返しし、拠り所としていた古民家（名称：「どんぐりの家」）の敷地内での畑作業にし、当初から目的にしていた住民の方々とのふれあいをよりなじみのあるものにし、もっと都路とのお付き合いを広げようと活動しました。「どんぐりの家」は、地元岩井沢地区のサロン活動に共用していただき、さらには都路の方々が自ら起ち上げた「都路を支え合う会」の交流の場に共用していただけるようになりました。それらのサロンの日はできる限り参加をするとともに、共用の場としての「どんぐりの家」のリノベーションや畑作業を、住民の方の助力を得ながらできることから少しずつ取り組みました。そして、私たち災害ボランティアセンターが企画するサロン活動を季節に 1 回ずつ催しました（四季サロン）。畑作業ではサツマイモの栽培、リノベーションでは壁面画の創作など行いました。四季サロンでは、幼児からお年寄りまで多くの方々と楽しいひと時を過ごせたと思っています。その他、都路小中学校での学習支援や学校行事のお手伝い、都路地区の催しごとのお手伝いもあり、かなり頻度の高い活動になりました。また、都路の故郷を想う歌詞に学生が作曲をし、3 月に完成しました。今後いろいろな機会と一緒に歌えるようになればと思っています。

都路地区では桜美林大学の学生たちも継続した活動をしており、例年以上に協働活動を行いました。夏には、インラインスケートの全日本チームが「どんぐりの家」を宿所にして合宿を行いました。私たちの活動をきっかけに都市部の人たちとの交流を呼び込むという目的もありましたので、それにかなうものとして拠点をお貸ししたものです。

まだまだ地域の方々に教えてもらうことばかりですが、さらに賑わいの交流の場になれるよう「学生 DASH 村」を続けていきます。



【連携・協力】

NPO 法人田村復興応援隊¹¹、「都路支え合う会」、都路地区岩井沢の住民の方々

【活動場所】

田村市都路町岩井沢地区での活動拠点「どんぐりの家」や都路地区各所

【活動内容】

- ・ 都路四季サロン ・ 畑作業 ・ 拠点整備 ・ 地域イベントへの参加
- ・ 岩井沢地区でのフリーサロンや、「都路支え合う会」で行われているサロンへの参加
- ・ 他大学・団体との交流 ・ 都路地区からの要請による活動（小学校の運動会サポートなど）

【活動日時・人数】

[都路四季サロン]

- ・ 春の四季サロン 4月13日（土）：4人 ピザづくり、足湯、おしゃべり
- ・ 夏の四季サロン 7月13日（土）：8人 福島ボンガーズ¹²の芸人さんを招いたお笑いお楽しみ会と夏野菜カレーづくり
- ・ 秋の四季サロン 10月26日（土）：7人 お楽しみクイズ大会、畑で育てたサツマイモの収穫料理（スイートポテトとかいろいろ）
- ・ 冬の四季サロン 2月1日（土）：5人 豆まき、頭の体操絵かきしりとり



¹¹ 田村復興応援隊は、2013年7月総務省の復興支援員制度を活用し、人材育成を手掛けていた郡山市のNPO法人「コースター」の委託事業として発足した。その後2017年に独立する形でNPO法人「くらスタ」の受託とし、田村市の高齢者を支える活動、地域活動を支える活動、田村市の発信活動を地域密着で行っている。災ボラにとっては良きアドバイザー。

¹² 福島県を拠点としているムッシュサイトー、フジナツツ健、品田マン、おかちゃんの芸人プロ集団。それぞれテレビ、ラジオ、イベントで活躍している。



[畑作業・拠点整備や都路で行われているサロンへの参加での活動]

- ・4月5日(金):4人 ・4月20日(土):9人 ・4月24日(水):7人
- ・5月1日(水):3人 ・5月15日(水):6人 ・5月18日(土):7人
- ・5月29日(水):9人 ・6月9日(日):6人 ・6月12日(水):6人
- ・6月16日(日):7人 ・6月23日(日):4人 ・6月26日(水):5人
- ・6月30日(日):6人 ・7月6日(土):3人 ・7月10日(水):2人
- ・7月21日(日):2人 ・7月24日(水):2人 ・8月7日(水):3人
- ・8月22日(木):4人 ※都路中学校学習支援活動も
- ・8月28日(水):5人 ※都路中学校学習支援活動も
- ・8月31日(土):6人 ・9月10日(火):5人 ・9月25日(水):5人
- ・10月9日(水):6人 ・10月19日(土):6人 ・10月23日(水):4人
- ・11月17日(日):5人 ・11月24日(日):6人 ・11月27日(水):3人
- ・12月11日(水):2人 ・12月14日(土):4人 ・12月22日(日):4人
- ・12月25日(水):4人 ・1月18日(土):3人 ・1月26日(日):2人
- ・1月29日(水):2人 ・2月12日(水):3人 ・2月22日(土):4人
- ・2月26日(水):3人

[その他の活動]

- 5月11日(土):6人 「都路支え合う会」講演会お手伝い
- 5月25日(土):5人 都路小学校運動会お手伝い
- 6月2日(日):4人 歌声ゆう子の会
- 7月14日(日):8人 行司ヶ滝遊歩道再開探索会、里山が見える丘公園看板作成
- 8月2日(金):4人 里山が見える丘公園看板設置(桜美林大学、都路中学校協働)
- 8月3日(土)・4日(日):5人
都路灯祭りのお手伝い、桜美林大学との共同ブース(プラバンづくり)
- 9月1日(日):4人 フリーマーケット&ナイトシアター(桜美林大学学生主催)
- 9月15日(日):2人 敬老会参加とお手伝い

9月28日(土):3人 都路認定こども園ミニ運動会お手伝い

11月9日(土):5人 つながり日和お手伝い(ホップジャパン主催)

12月7日(土):3人 イルミネーション点灯式お手伝い

【活動者の声】

○池田健太(経済経営学類 2年)

今年1年間学生 DASH 村に携わり、「変化」が大きく感じられた年でした。昨年度まで重点的に取り掛かってきた農作業のペースを落とし、改めて都路地区の住民の方々との「交流」に趣を置いた活動を心がけてきました。具体的には今年度から我々の拠点(通称:どんぐりの家)で今までは別箇所で行われていた岩井沢地区のサロンが行われるようになり、気軽に住民の方々と顔を合わせられるという環境づくりができました。また四季に1回、学生が主催で行う「都路四季サロン」も開催しました。さらには、地域のイベントや行事にも積極的に参加し、着実に交流の輪を広めることが出来たと思います。しかし、一部の地域の方々とはしか関わっていない、学生が主体的となって活動を積み上げていく難しさなどといった現状もあります。そのような中でも屈せずに、良い活動にするために模索を続けていこうと思います。もちろん学生 DASH 村は都路の方々のご協力があって成り立っている活動であり、今までも幾度となく支えられてきました。この環境を当たり前だと思わず、感謝の念を持ちながら都路の方々と共に、都路を少しでも盛り上げられるように尽力していこうと思います。



(5) 復興のまちづくり事業

☆新地町「防集団地¹³コミュニティガーデン事業」(新規)

新地町は、避難所→仮設住宅→防集団地のようにコミュニティの再編が繰り返された町です。また一連の団地内に防集戸建て住宅と災害公営住宅が共存していることにより、防集戸建て住宅同士、防集戸建て住宅と災害公営住宅、さらには防集団地と周辺地域といったコミュニティにおける不協和が課題となっていました。そこで、2020年春に整備がされる釣師防災緑地でコミュニティ形成に係る事業を実施することで、多くの被災者及び関係する地域住民の参画を望む活動を起こしたいと新地町役場からの要請を受けて協力しました。主な内容として、防災緑地のパークセンター内に設置するオリジナルの年表づくりと、パークセンター前にハーブガーデンを作りその後収穫したハーブを使ったワークショップを行いました。この活動については、新地町役場より交通費(燃油)の実費補助をいただきました。



【主催】

主催：新地町、主管：NPO法人東北の造形作家を支援する会SOAT

【活動場所】

福島県相馬郡新地町釣師地区防災緑地開設予定地

【活動日時・活動人数】

- ・4月13日(土)：4名：ハーブガーデン花壇造成
- ・5月26日(日)：8名：ハーブ100人ワークショップ(ハーブ植栽活動)
- ・7月7日(日)：4名：ハーブガーデンの手入れ作業とハーブのお茶会
- ・11月16日(日)：2名：ワークショップハーブオイルとランチョンマットづくり
震災年表ワークショップ
- ・2月2日(日)：2名：震災年表ワークショップ

【活動者の声】

○高橋春奈(人間発達文化学類2年)

何度か活動に参加し、参加を重ねる度にパークセンターや防災緑地がオープンするなど

¹³ 防災集団移転団地。一般住宅と公営住宅に分けて区画整備されている。

といった賑わいを見せる新地町にとっても嬉しく思いました。どんどん復興に向かっていくのが目に見えて、活動に携わることができてよい経験になったと思います。ハーブガーデンづくりや震災年表づくりなど、これまで経験したことがなかった活動だったのでとても新鮮でした。新地町の住民の皆さんとも沢山お話することができて嬉しかったです。



(6) 福島の風評被害軽減・産業復興サポート活動

☆前橋芋煮会

群馬在住の福島から避難された人や福島出身・ゆかりの人々の交流の場であり、福島の果物や物産品を販売したり、ふくしま風芋煮鍋を前橋市民に振舞う事業として、2013年から毎年11月に「まえばし×ふくしま部」¹⁴との協働で開催してきました。今年は、先方都合と台風19号の影響で実施しませんでした。

¹⁴「まえばし×〇〇部」市民が様々なサークルグループを作り、それを前橋市が支援する市民活動事業。

☆いか人参プロジェクト（新規）

前年度の3月7日～9日にかけて福島県や宮城県、兵庫県、福岡県など被災経験のある県の8大学の熊本交流プログラムに参加しました。そこで熊本地震で被災した益城町の仮設住宅にお住まいの方に参加大学それぞれがつくる郷土料理の振舞いを行いました（復興食堂）。実を言うと、そのプログラムがあることを知らなかったのが、急きょ「いか人参」を仕込み、仮設住宅の方に振舞いました。すると、初めて食べたけどこれなら簡単で家でもつくれると評判になり、地元新聞にも取り上げられました。「いか人参」は手軽に作られることから、避難されている方にとってはうってつけのメニューではないかと感じました。

そこで、福島の郷土食文化をPRする「ふくしまいか人参」プロジェクト（仮称）を起ち上げ、復興公営住宅や帰還した人々の家庭の味を集めながら、災ボラセンター版「いか人参」レシピを作成し、新たな食べ方アイデアも模索しようと思いました。実際のところ、今年度は集中的にその活動をするにはできなかったのですが、「いか人参のかき揚げ」など試食品をつくってみたりしました。これからは、復興公営住宅の方々にも教えてもらいながら食での生きがいづくりになるよう、そしていずれは福島発信のアイテムになるようなプロジェクトを始動していきたいと思っています。

（7）次世代育成学びのサポート活動

☆高校の研修旅行、学習活動の受け入れ

《大分県立佐伯鶴城高校のSSH研修》

大分県立佐伯鶴城高校の「防災SSH（スーパーサイエンスハイスクール）クラブ」の生徒の皆さんと、主に防災について考える交流を実施しました。初めに、私たち災害ボランティアセンターの成り立ちや、日頃の活動内容などを紹介し、それから、防災SSHの皆さんの防災研究についての発表を聞き、大学生の視点からのアドバイスをさせて頂きました。そして最後は、高校生に4つの班に分かれてもらい、各班に2～3人ずつ福大学生を置き、震災が起きる「前」と「後」の2パターンを意識して、どうしたら命を守ることができるのかということについて考えるフリーディスカッションを行いました。佐伯鶴城高校は海からとても近い所に立地しているとのことで「震災が起こった＝津波が来る」という考え方のもと、フリーディスカッションを進めていきました。

【対象】

大分県立佐伯鶴城高校「防災SSH（スーパーサイエンスハイスクール）クラブ」の生徒17名

【活動場所】

福島大学 行政政策学類棟 大会議室

【活動日時】

2019年9月9日（月）、17:00～18:30（台風15号の影響により時間を短縮して実施）

【活動内容】

- ①（学生団体）福島大学災害ボランティアセンターの紹介
- ②フリーディスカッション（テーマ1：災害が起こる前にできること、テーマ2：災害が起こった後にできること）

【活動者の声】

○林崎 雪音（行政政策学類2年）

1時間半という短い時間でしたが、高校生の皆さんにとっても、私たち大学生にとっても、お互いの防災情報を発信し合える貴重な機会となりました。高校生にはここで得た知識を大分に持ち帰って、生活の中で十分に活かしてもらえたらいいなと思っています。震災はいつ起きるか分からないので、実際に起きてしまった場合には、先頭に立って地域を守ることにできる人になって欲しいです。また、私たちもそうなれるようになりたいと改めて感じました。



《松陵中学校での足湯講習会》

5月25日、ここ数年来続いている福島市立松陵中学校からの依頼を受けて、生徒への「足湯講座」を実施しました。



《所沢西高校の吹奏楽部演奏会の調整》

台風19号被災者への慰問として、吹奏楽の演奏の相談があり、いわき市社協災害ボランティアセンター等との調整をしました。2月22日(土)平第四小学校体育館での吹奏楽演奏会となり、水害の被害を受けたいわき市下平窪地域や内郷コミュニティセンター避難所の人々へのちらし配布等も行いましたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止となりました。

《甲府東高校研修会》

3月21日、福島大学構内での研修予定で調整と高校の先生らと打ち合わせ準備を行いましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

(8) 福島の子どもたちへの健全な交友づくりサポート活動

☆「第7回集まれ！ふくしま子ども大使」

今年で7回目の開催となりました。東日本大震災から8年が経過し、大震災に関わることが風化されつつあり、一部風評被害もまだ残されています。また、ストレスを感じやすい環境下において、その影響を受けている子どもたちもまだいると痛感します。そのため、福島の魅力や現状を福島県内、そして全国の子どもたちに知ってもらうとともに、全国の子どもたちの出身地について交流をし、子どもたち同士の長い交友関係が生まれることをこの活動は狙いとしています。「ふくしま子ども大使」を通して、参加した子どもたちが福島のこと、そして活動の中で経験したことを他の人々に、全国に発信するふくしま子ども大使となることを強く願って開催しています。

また本活動は、旅行関係でJTB福島支店の方々、資金関係で公益財団法人ノエビアグリーン財団、公益財団法人大阪コミュニティ財団、公益財団法人パブリックリソース財団ふくしま未来基金の助成をいただき、多くのご協力のもと成立したプロジェクトです。

【協力】

土湯温泉ゲストハウス YUMORI、土湯温泉街の皆さん、福島市内の観光施設、浪江町にお住まいの皆さん

【後援】

福島県教育委員会

【活動場所】

活動場所：福島県福島市内、浪江町内、 宿泊施設： 土湯温泉ゲストハウス YUMORI

【活動期間】

2019年8月9日(金)～2019年8月12日(月) 計4日間

【活動人数】

(スタッフ) 催行団長：教員1名、看護師 1名

学生スタッフ：福島大学10名、富山大学2名、関西大学2名、ノートルダム清心女子大学2名、中国学園大学1名 計17名

(参加児童)福島県内各地10名、茨城県3名、富山県3名、奈良県2名、岡山県2名、島根県1名 計22名

計41名

【活動内容・行程】

○8月9日(金) 1日目

参加児童が各所から福島市へ集合(北陸・関西・中国ブロックからは、各地の協力大学学生のエスコートにより福島に向かった。福島県内・関東ブロックは、福島大学学生がエスコートした)。午後、福島市内「四季の里」で屋外フリーアクティビティ。夕方、「はじめましての集い」で初めて会う子供たち同士の親近感づくりをした。

○8月10日(土) 2日目

東日本大震災の避難指示解除地区である浪江町への視察訪問。浪江町に戻った方々と子どもたちとの交流会を行った(チームなみえ G&B のみなさん、浪江町の子どもたちとの交流会)。また、津波被害や地震被害、そして原発事故により全町避難を経験した街並み、復興の状況を視察。その際には町民の方に同行案内をしていただいた。福島市土湯に帰ってきたら、炊き出し大鍋料理。みんなで夕食を作る楽しさを感じてもらおうとともに、炊き出しは震災が起きた時に行われることの一つとして経験。夜は花火。

○8月11日(日) 3日目

トレッキングとデイキャンプ。土湯にある女沼のトレッキング(約1キロ)で、福島を自然を探訪した。このデイキャンプのプログラムの中で、バーベキュー・昼食づくりを行う予定だったが、雨天のため内容変更、急きょ YUMORI に戻ってから室内でバーベキューをした。午後からは学生の企画で班単位での土湯温泉街でのウォークラリーを行い、子どもたちの共同感を強めていく内容を考えた。土湯の活性化の一助になれるよう、地域の方々にも相談、協力していただいて、プログラムを作った。夕方からは、「さよならの集い」を行い、ゲームや学生によるパフォーマンスで活動の振り返りを行った。

○8月12日(月) 4日目

日本三大こけしである「土湯こけし」の絵付け体験をした後、各地への帰路をエスコートした。

【参加した小学生の感想】

≪参加者からの作文より≫

➤ 茨城県 小学校5年生

(浪江町の視察について) 東日本大震災で私の家はあるひがいはなかったけど、福島県でも浜通りにある原子力発電所で事故が発生し、8年がたった今でもひなんしている人がいるということを知ってとってもびっくりしました。地震と津波があったところに行くのはとても勉強になりました。

➤ 富山県 小学校6年生

ウォークラリーでは途中すごくきつい階段があり、最後まで上るのが大変でした。リーダーとしての責任や、班のみんなと協力することで乗り越えることができました。ふくしま子ども大使に参加できて楽しい思い出がたくさんできました。

➤ ○岡山県 小学校6年生

初めて出会った大学生たちや、全国から集まった小学生たちとゲームをしたり、ごはんを作ったり、温泉街へ行ったりしたのが、とても楽しかった。特に土湯温泉街ウォークラリーは、知らない街を、福島でできた友達とぼう険しているみたいで、ドキドキしながら楽しめた。

【学生スタッフとして参加した県外大学生の感想】

➤ 富山大学3年 熊藤志緒里

キャンプに参加して、福島の魅力をたくさん伝えていきたいと思った。全国から集まったみんなに会えて本当によかった。

➤ ノートルダム清心女子大学1年 浅海由依

一昨年の西日本豪雨で祖母の家が被災し、福島の様子を見たいと思い参加した。いろんな県の人たちと4日間過ごせて楽しかった。福島の良さと楽しさを思い切り感じる事ができた。また福島に行きたい。

○1日目 四季の里でフリーアクティビティ



○1日目 はじめましての集い



○2 日目 浪江町・交流会



○2 日目 浪江町・視察



○2 日目 大鍋料理(カレー作り)



○3 日目 女沼トレッキング



○3 日目 バーベキュー



〇3日目 ウォークラリー



〇3日目 さよならの集い



〇4日目 こけし絵付け体験



〇4日目 お別れ



(9) 子どもの力支援

☆「第5回ふくしまネイチャリングキャンプ」

私たち「学生団体福島大学災害ボランティアセンター」では、2011年度より福島県内の子どもたちを対象としたキャンプを行ってきました。その目的は、震災・原発事故の影響による様々な気持ちに対して、外遊びを通じてリフレッシュすることであり、福島県外で海水浴や観光を楽しんでもらうツアー型キャンプという形をとっていました。時間の経過とともに、大学生と様々な体験をすることで力強く成長してほしいという保護者の意見も聞かれるようになり、震災5年目を迎えた2015年度より、遠方の「ツアー型」から福島県内の「ネイチャリング型」に活動を転回し、被災地の子どもたちだけではなく、福島県の子も達が豊かな自然の中でのびのび活動し、かつ主体的に新しいことにチャレンジできるキャンプを開催することにシフトしました。

今年のキャンプでは『体験・挑戦・発見』をコンセプトとし、裏磐梯・小野川湖湖畔を中心とした大自然を活かし、子どもたちが普段はできないような自然体験を盛り込んだプログラム構成としました。

なお、この活動は、日産スマイルサポート基金の助成金を活用して実施しています。

【協力】

ホールアース自然学校 福島校¹⁵

【後援】

福島県教育委員会

【活動場所】

小野川湖レイクショア野外活動センター

【活動期間】

8月17日(土)~8月20日(火)

【活動人数】

[スタッフ]

- ・催行団長 教員 1名
- ・看護師 1名
- ・自然体験活動インストラクター 1名
- ・学生スタッフ 福島大学学生 18名

[参加者]

- ・福島県内の小学 4~6年生 30名

【活動内容・行程】

- 8月17日(土)・結団式 ・アイスブレイク ・ナイトハイク
- 8月18日(日)・カヌー ・料理対決
- 8月19日(月)・草木染め ・キャンプファイヤー
- 8月20日(火)・フリーアクティビティ ・解団式



【活動者の声】

○ 山田 椋大(行政政策学類2年・キャンプリーダー)

ネイチャリングキャンプには1年生から参加させていただいていて、今年も沢山の子供達と大自然を感じられる素晴らしいフィールドの中で、存分に『体験・挑戦・発見』がで

¹⁵ ホールアース自然学校は、自然体験教室や様々な野外活動を通して環境教育を行い、研究所や農業邦人等を展開する1982年設立のグループ団体(富士山本校をはじめ、沖縄など全国6つの拠点)。東日本大震災の支援活動後、福島での自然と人との架け橋となる活動をこころざし、2013年福島校が開校された。福島校の代表は、福島大学の卒業生で野外活動の豊富な経験から災ボラのプログラムを陰ながらけん引する魅力ある人物である。災ボラ初代GMもスタッフとして就業している。2019年には福大行政政策学類と教育連携協定を締結している。

きたと思います。また、今年は1年次とは違いキャンプ長として運営面に多く関わりました。1年次には知らなかったことも多く、このような企画を行う場合はどういった手続きが必要となるのか、何が必要で何を必要とされているのか、などを知ることができるようになりました。とはいえ1人では決してできていなかったです。昨年、一昨年のキャンプ長の先輩、インストラクターをしてくださったホールアース自然学校の方々、一緒にキャンプを作り上げた仲間達の手助けがあって行うことができました。反省点も多く出たので全てが大成功とは言えないですが、解団式で子供達が笑顔で楽しかったエピソードを話してくれたり、涙を流してくれたりした姿を見て、ネイチャリングキャンプを行なって良かったと思います。

3泊4日のネイチャリングキャンプに向けて準備をして辛いこともありましたが、キャンプの中で得られた経験と達成感と子供達の笑顔で全てが報われた気がしました。しかし、今回今までで1番多い人数である30人の子供たちとキャンプを行なったことによって問題も多くありました。進行が遅くなってしまったり、子供たちでケンカが起きてしまったり、危機管理を十分にできていなかった部分もありました。この反省は来年に活かして、より良いネイチャリングキャンプを行なっていきたいと思っています。

○ 梶田颯斗（共生システム理工学類1年）

私がこのネイチャリングキャンプに参加しようと思ったきっかけとして大学生活において何もしないで過ごすのはもったないと感じたからです。しかし実際、毎回の会議で子供の命を預かる大切な役割なんだという責任感が湧いてきました。子供たちが何を感じて、そこからどんなことを学んで欲しいかひとつひとつ細かいところまで考え、形にしていく作業は本当に大変でした。もちろん、1年生であるため先輩方のこれまでの経験や意見を参考にし、ものづくり班として活動しました。何度も計画を白紙にしながらも「草木染め」という結論にたどり着き当日、みんなそれぞれの個性が出るデザインになっていてかつ、喜んで持ち帰ってくれたのを見た時はなんとも言えない達成感がありました。

それ以外の活動でも終始、子供たちの元気ある笑顔やトミー！トミー！と自分のキャンプネームを呼んで一緒にご飯を食べるなど、自分も楽しく過ごすことができました。

それでもいつも順調に行くこともなく常に何かしらの決断を迫られることが多くて自分はまだまだだなと感じた場面がありました。特に3日目、4日目は集中力もかけ始め、先輩方に頼ることも多かったのが次のキャンプへの反省点として



心に留めておきたいです。来年度は2年生として後輩を引っ張っていきながら上の立場としてより広い視野を持ち、キャンプのモットーでもある子供だけでなく自分たちも楽しめるキャンプを作っていきたいです。



(10) 子どもの発達・遊び支援

☆米沢市での活動

米沢市県外避難家庭の子どもを含む行事や、福島からの週末郊外遊び行事をサポートしました。

【活動場所・活動日時・活動人数】

5月26日(日) アースウォーカーズ¹⁶主催 田んぼアート田植え@米沢 (4名)

7月7日(日) アースウォーカーズ主催 米沢日帰りリフレッシュプロジェクト
(8名)

¹⁶ 宮崎県のNPO法人アースウォーカーズ。東日本大震災の原発事故影響による子どもの支援や、若者の国際交流活動を行っている。

- 9月29日(日) アースウォーカーズ主催 稲刈り@米沢 (2名)
- 10月20日(日) 米沢市教職員主催 米沢芋煮会 (3名)
- 11月30日(日) 米沢市と避難者支援センター「おいで」主催 クリスマス会
(3名)
- 2月22日(日) アースウォーカーズ主催 米沢日帰りリフレッシュプロジェクト
雪遊び (3名)



(11) 福島元気発信活動

☆「和紙キャンドルガーデン-TOHOKU2020-」

多摩大学村山ゼミが主催する「日本大好きプロジェクト」の活動で、2016年度(平成28年度)から続けられています。メッセージを書き込んだ和紙で作られた灯籠を、鎮魂と復興の思いを込めて、都会の一隅を照らしてきました。福島状況を学生目線で来観者に語って欲しいと被災当事者県の学生として招かれ、運営補助をいっしょに行ってきました。今年も都心の東京ミッドタウンを会場として3月11日に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。

(12) 台風19号災害支援ボランティア

今年度10月12日に日本列島を直撃した台風19号は福島県にも大きな被害をもたらしました。福島県内を縦断する阿武隈川をはじめとする大小の河川が氾濫し、本宮市、郡山市を中心に県内各地で被害がありました。それにより多くの人がしばらくの間避難生活を余儀なくされました。



福島大学として、今回の台風 19 号に対してボランティア活動を行うにあたり、弊団体が参加学生のとりまとめを行うこととなりました。

今回の水害に対する活動は主に 4 つありました。1 つ目は泥かき、片づけ活動です。床上/床下浸水のご家庭に行き、泥かき、家財道具の運び出し、家具・家屋の洗浄、清掃などを主に行いました。主には現地災害ボランティアセンターを通

しての活動でしたが、大学からの依頼で在学中の被災地学生の安否確認・状況見分を兼ねて片付けを行ったり、災害ボランティアセンターOBで被災されたお宅に個人的に片づけの手伝いに行ったり、ネイチャリングキャンプでお世話になっている「ホールアース自然学校」がコーディネートしたケースでの片付け活動もありました。2 つ目は現地ボラセンの運営手伝いです。須賀川市と本宮市の災害ボラセンで運営の手伝いにそれぞれ 1 名ずつ送り出しました。3 つ目は避難所での足湯活動です。避難生活が 1 ヶ月を過ぎた頃から、心のケアができればと始めた活動です。伊達市梁川の寿健康センター、宮城県丸森町の丸森まちづくりセンター、丸森小学校、舘矢間小学校、いわき市内郷コミュニティセンターの 5 か所の避難所で足湯活動を行いました。4 つ目はクッキングボランティアです。いわゆる振舞としての炊き出しとは異なり、避難所生活者とともに夕食を調理準備するスタイルで、いわき市内郷コミュニティセンターの避難所で 5 回行いました。味もメニューも活動スタイルも大変好評でした。

本団体の活動記録として、被災地域での実際の活動以外の、現地活動を支える本部での活動も記しておきたいと思います。大学がバスを手配してくれたこともあり、水害後、多くの学生を被災地域まで送ることができました。主な泥かき活動は現地ボラセンの受付を通して活動を行ったのですが、少しでも作業時間を長くするために各ボラセンと事前に連絡を取ってボランティアの送り出しをするために様々な準備をしました。活動に行くまでの本部の動きは、一般登録者へのボランティアの募集をし、参加者情報を名簿でまとめ、大学から借りるまたは新たに調達した資材等の準備、当日参加者に貸し出す備品の確認等でした。JR 東北本線が運休していたこともあり、水害直後は大学周辺で生活していた学生を中心に準備



を進めました。OBOGの皆さんからも災害時の運営についてアドバイスを多くいただきました。

本団体では、県内相馬市、伊達市、福島市、本宮市、郡山市、須賀川市、いわき市、宮城県丸森町で活動を行いました。ほとんどの市町村で復旧作業が落ち着いてきていますが、被災者の心のケアはまだまだこれからも続けていく必要があると感じています。

この活動には、活動経費の寄付や新規助成もありました。また、大学各部局や食農学類、水泳部等から資材・物品をお借りし、学外からはマスク等活動支援物資を寄贈いただきました。ありがとうございました。

【台風19号関連災害支援ボランティア活動状況】

月日	支援地域	参加人数	大学バスチャーター支援	備考
10/13	本宮	3		泥かき、家屋片付け
10/16	須賀川	12		泥かき、家屋片付け
10/17	福島	17		泥かき、家屋片付け
10/17	本宮	5		泥かき、家屋片付け
10/18	本宮	50	○	泥かき、家屋片付け
10/18	須賀川	2		泥かき、家屋片付け
10/18	福島	5		泥かき、家屋片付け
10/19	梁川	6		泥かき、家屋片付け
10/20	本宮	35	○	泥かき、家屋片付け
10/20	梁川	29	○	泥かき、家屋片付け
10/22	相馬・丸森	5		泥かき、家屋片付け
10/25	丸森	9		泥かき、家屋片付け
10/25	梁川	12		泥かき、片付け、避難所での足湯
10/26	本宮	19	○	泥かき、家屋片付け
10/27	郡山	17	○	泥かき、家屋片付け
10/27	須賀川	19	○	泥かき、家屋片付け
10/28	相馬	5		泥かき、家屋片付け
10/29	本宮	8		泥かき、家屋片付け
10/31	丸森	21	○	泥かき、家屋片付け
11/1	郡山	13	○	泥かき、家屋片付け
11/2	梁川	7		泥かき、家屋片付け
11/3	丸森	7		泥かき、家屋片付け
11/4	丸森	9	○（大学バス支援最終）	泥かき、片付け、避難所での足湯
11/6	郡山	3		泥かき、家屋片付け
11/8	梁川	4		泥かき、片付け、避難所での足湯
11/9	丸森	12	※○（災ボラ経費）	泥かき、片付け、避難所での足湯

11/10	丸森	28	※○（災ボラ経費）	泥かき、片付け、避難所での足湯
11/17	丸森	7		避難所での足湯活動
11/24	丸森	3		泥かき、家屋片付け
11/30	丸森	3		避難所での足湯活動
12/12	いわき	2		避難所見聞
12/14	丸森	4		避難所での足湯活動
12/21	いわき	3		避難所での足湯活動
12/29	いわき	9		避難所での足湯とクッキング
12/31	いわき	2		避難所年越し
1/3	いわき	4		避難所クッキング
1/8	丸森	4		仮設ニーズ聞き取りお散歩隊
1/12	いわき	13		泥かきとクッキング
1/17	いわき	5		避難所クッキング
1/23	いわき	4		避難所クッキング
1/24	いわき	3		避難所お茶会
2/9	いわき	5		内郷コミュセン避難所閉鎖後の
2/28	丸森	1		仮設ニーズ聞き取りお散歩隊

◇災害ボランティアセンター運営スタッフの派遣

須賀川市社協災害ボランティアセンターへ 1名 10月23日、24日、26日、27日

本宮市社協災害ボランティアセンターへ 1名 10月22日、26日、29日

活動日数 39日 活動数 50回 活動のべ人数 441人



~~~~~

## クッキングボランティア

~~~~~

12月29日：クラムチャウダー、おせちアラカルト（手作りきんとん、昆布締め、富山のかまぼこ、いか人参）、サラダバー、おまけの焼き鳥

1月 3日：おでん、筑前煮、きんぴらごぼう、タイの澄まし汁（金箔入り）

1月12日： 災ボラオリジナル家庭の冬野菜カレー、ふろふき大根、小松菜のごま和え

1月17日： 肉じゃが、各家庭の味の卵焼き、きんぴらごぼう、水餃子

1月23日：肉豆腐、南瓜とかぶのそぼろあんかけ、ほうれん草のおひたし、わかめの卵とじ中華風スープ、おまけのホットケーキ



(13) 災害に関する他団体・企業との共同活動

☆「味の素」との料理教室

富岡町から福島市へ避難して、福島市内の民間借り上げ仮設住宅に住んでいらっしゃる方々が平日の午前10時から午後4時まで集まることのできる場所が富岡町さくらサロンです。サロンに来られる方々と新緑会や芋煮会など季節のイベントや味の素料理教室を通して交流を行ってきました。

味の素お料理教室は今年度で終了することになったので、来年度からは、災害ボランティアセンターで季節のイベントなどを中心に、食に関する後継事業を考え、今までよりも交流を深めていきたいと思っています。

【活動日時、活動人数】

- 4月23日(火)お料理教室、1名
- 5月14日(火)お料理教室、2名
- 10月29日(火)お料理教室、3名
- 12月10日(火)お料理教室、1名
- 1月14日(火)お料理教室、2名

【活動者の声】

○高坂夏美(人間発達文化学類4年)

私は大学1年のころから、味の素お料理教室に参加させていただきました。料理を通して、サロンに来られる方々と交流できてとても楽しかったです。今年度で味の素お料理教室は終わってしまうのですが、季節のイベントなどを中心としてこれからもみなさんと楽しい時間を過ごせたらと思います。



(14) 災害援助及びその活動に関する情報提供、啓発活動、報告活動

☆マレーシアからのお客様と福大マレーシア留学生との情報交換交流

7月19日 行政棟教室にて、災ボラの活動報告と災害ボランティアに関する国際理解の意見交換会をしました。英語での発表、英語での意見交換はなかなか大変でしたが、マレーシアでの災害支援の考え方を学ぶ機会となりました。

☆福島大学オープンキャンパス

行政政策学類の学生が活躍する学生活動ということから、毎年行政政策学類のオープンキャンパス催しの一環として、災ボラの展示をさせてもらっています。今年は、8月5日(日)行政棟211教室で行いました。立ち寄る高校生からの質問を受けたり、大学生生活の様子をお話ししたりしておもてなしをしています。

☆福島大学校友会ホームカミングデイ

11月2日(土)学祭が開催されている日にL-1教室で、福島大学校友会(通称福島大学ファミリー会)設立総会を兼ねた、福島大学70周年記念第12回ホームカミングデイに招かれ、卒業生や大学関係者に、台風19号での活動紹介の機会をいただきました。

☆第3回福島県環境創造シンポジウム

福島県が主催した「第3回福島県環境創造シンポジウム」で福島大学災害ボランティアセンターも活動紹介の動画上映・「JOYBEAT」のデモンストレーション及びパネル展示のブースを設置しました。2回のパネルセッションでは、観覧者への解説等を行いました。

【開催日】

2月2日(日)

【主催】

福島県

【場所】

田村市：
福島県環境創造センター交流棟
(通称：福島コミュニティ)

【活動人数】 2名



(15) 福島大学が行う災害に関する各事業への協力

☆「東日本大震災 福島大学の記憶」

福島大学の創立70周年記念事業震災・復興展示コーナー「東日本大震災 福島大学の記憶」の第1期として、福島大学に設営された避難所のパネル展示と当時の段ボールスペース（当時私たちはそれをブースと呼んでいました）を再現しました。展示のオープンセレモニーでは、学長や記念講演をされた女優紺野美沙子さんらによるテープカットが行われ、期間中には福島市長を始め多くの学生や市民が訪れました。中には、福大体育館避難所で過ごされた方もいらっしゃり、その当時を懐かしんでいました。3月11日からは第2期として、災害ボランティアセンターの特設展示が行われる予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、現在のところ無期限の延期となっています。



(写真：福島大学ホームページより)

【主催】 福島大学

【展示期間】

9月11日（水）～翌年3月11日（水）

※新型コロナウイルス感染症拡大のため第2期展示（災ボラ）が延期となり3月末日現在も展示中

【場所】

福島大学図書館1階、特設展示場

(16) ボランティア登録者への呼びかけと登録者のフォローアップ

☆サークルオリエンテーションと新歓活動オリテ

4月10日（水）、S棟前広場で例年通りサークルオリエンテーション（通称サオリ）にブースを設け、登録の呼びかけをしました。また、4月15日（月）にはS棟教室をお借りして、学生団体合同説明会を別途開催し、関心のある新入生への登録をさらに呼びかけました。また、4月16日（火）午後6時から、金谷川集会所で、新入生歓迎活動オリエンテーションを開催しました。災ボラ活動には欠かせない芋煮の調理を行い、年間を通した活

動や参加希望活動のエントリー方法などをスライドショーで詳しく紹介し、新入生同士の親睦も深めました。今年は、これまでで最高となる 162 名が集まりました。

災ボラの登録者数は、台風 19 号の時期には最大 505 名の登録数になり、年度末最終的には 488 人の登録者でした。

☆新登録者向けの「災ボラステップアップ月間」

災ボラに登録はしたけれど、「なかなか最初の 1 歩が踏み出せない」「友達がいなくて不安がある」といったことから、昨年度から 1 年生の登録者を 15 人から 20 人程度の 7 つのランチグループをつくり、それぞれのグループにマネージャーが 2 名～3 名張り付いて活動の誘いを行い、活動のサポートもする方式をとりました。実際に活動するステップアップにしてみようという試みで、5 月末までを月間としました。

☆「災ボラ Days」

「災ボラ Days」を実施することを通して、災ボラの活動内容を紹介、情報を発信し、多くの人に興味を持ってもらうことを目的に実施しました。

【活動場所】

福島大学生協前広場

【活動日時】

12 月 12 日（木）～13 日（金）の 2 日間

【活動内容】

- ①災ボラとして取り組んでいる活動を年表、写真とパネルにまとめ展示
- ②ポケットティッシュ作成、配布
- ③今後の活動予定ポスターを掲示
- ④芋煮の振る舞い（投げ銭方式で提供）
- ⑤備蓄米の配布
- ⑥災ボラ登録、災ボラ保険新規加入手続き
- ⑦台風 19 号の水害ボランティア活動の当初からの活動を写真とともに掲示

【活動者の声】

○渡部 有南（行政政策学類 1 年）

昨年までに秋に行ってきた「災ボラウィーク」とは異なり、台風 19 号の影響もあり 12 月に期間を 2 日間に縮小して実施しました。今年度それまで行ってきた活動を全て月表にまとめ、夏に行われた子ども大使やネイチャリングキャンプ、フリースペース、季節の写真を掲示し、より分かりやすく災ボラが普段どのような活動をしているのか知っていただけたと思います。また、10 月の台風 19 号の被災地への水害ボランティアでの様子を細か

く写真とともに提示することで、多くの方に現状を伝えることができたと思います。投げ銭方式で振舞った芋煮は2日間とも好評で、多くの方に喜んでいただきました。約2万円の浄財は、災ボラの自主運営資金として活用させていただきました。ありがとうございました。準備に取り掛かるのが遅く、準備不足の点もあったと思いますが、多くの方に災ボラの活動の様子や想いが届いていたら嬉しいです。



災ボラDays開催！！

日時: 12月12日(木)・13日(金) 12:00~14:00
 場所: 生協前
 内容: 芋煮の振る舞い・活動紹介のパネル展示

SNSやHPやってます！詳しい活動内容は
 「(学生団体)福島大学災害ボランティアセンター」で検索Q
 Twitter (@fukudai_saiga)
 Facebook (@fukudaivc)
 Instagram (fukudai_volunteer)
 HP: <https://fukudai-volunteer-center.jimdo.com/>

災ボラについて気になること等ありましたらSNSのメッセージやメール
 (fukudai_volunteer@hotmail.co.jp)にお気軽にどうぞ！

☆ボランティア保険申請の取り次ぎ、取りまとめ

ボランティア保険は、各地の社会福祉協議会が加入窓口になっていますが、災ボラは登録者の便宜を図るため総務担当マネージャー所掌活動として、各登録者からボランティア保険金を徴収し名簿をまとめ、個人に代わり社協へのボランティア登録と保険加入をしています。例年4月・5月は何度も社協に出かけますが、加えて今年度は台風19号の活動の際には、現地の各災害ボランティアセンターで手続きをするため10月・11月も繁忙となりました。幸い、保険対応となる事柄は起こりませんでした。

《加入プラン》 天災保障プラン 掛け金 500円

9月末日までの加入者で福島市民は100円の助成があるため、一部掛け金の還付があります。その還付金は、災ボラの活動費収入とさせていただきます。

【ボランティア保険の集中取り扱い】※新規登録者呼びかけを兼ねて

4月17日（水）～23日（木） ボランティア保険加入 week：福大生協前広場

11月18日（月）～22日（金） 台風19号新規ボランティア保険徴収窓口の設置
：福大生協前広場

（17）センター運営及びボランティア活動資金の調達の取り組み

☆企業への働きかけ（新規）

これまで災害ボランティアセンターや福島大学の学生活動を支えていただいた企業をピックアップし、直接メールで支援のご意向を伺いながら、運営面での援助に賛同を得られた企業へ資金管理担当マネージャーが活動の趣旨の説明に上がり、小口での寄付等をお願いさせていただきました。

- ・メール送付企業 18社 内支援をいただけた企業 2社（杉妻自動車学校様 福島民友新聞社様）

☆寄付・物品の寄贈

《ご芳名一覧》

ホームページ等への掲載同意をいただいた方々のみを上げております。その他匿名篤志の方々を含め多くの方々からご厚志をいただきました。心より感謝申し上げます。

- NIPPON IT チャリティ 駅伝 様
- 復興公営住宅平沢団地自治会 様
- 復興公営住宅石倉団地自治会 様
- 五十嵐利光 様
- 棚木良子 様
- つながり日和（ホップジャパン） 様
- 熊本学園大学ボランティアセンター 様
- 宮野敏行 様
- 復興公営住宅北沢又団地自治会 様
- R.Japan 実行委員会 様 （寄付及びタオル寄贈）
- 国際ソロプチミスト福島 様
- 福島大学生協同組合 様
- 福島大学 様 （台風19号義援金の一部を活動費として）

- 杉妻自動車学校 様
- 福島民友新聞社 様
- ヘルピングハンズ 様 (防塵マスク寄贈)
- 明治製菓 HD 様 (お菓子の寄贈)

☆外部助成の申請

◀ 助成申請実績 ▶

平成31年度・令和2年度活用助成							
助成名称	採否	申請	決定	申請金額	決定金額	助成申請内容	助成期間
日産スマイルサポート基金	採択	平成30年10月	平成30年12月	1,650,000	1,500,000	第6回ふくしま子どもネイチャリングキャンプ、フリースペース・学習支援活動	平成31年1月～令和元年12月
大阪コミュニティ基金	採択	平成30年11月	平成31年3月	1,662,050	500,000	第7回集まれ！ふくしま子ども大使	平成31年4月～令和2年3月
ノエビアグリーン財団助成	採択	平成31年2月	平成31年4月	1,700,000	1,700,000	第7回集まれ！ふくしま子ども大使	平成31年5月～令和2年4月
Yahooフォローアップ助成	採択	Yahooから推奨団体として指定	平成31年3月	団体より指定	500,000	炭ボラ運営費、学生DASH村、浪江町等避難指示解除地域での活動	平成31年4月～令和2年3月
しんきんの絆フォローアップ助成	採択	平成31年2月	平成31年4月	1,000,000	800,000	復興公営住宅での活動、学生DASH村、小高区復興支援活動	平成31年4月～令和2年3月
「ふくしま未来基金」まちづくり草の根助成	採択	平成31年4月	平成31年6月	1,000,000	1,000,000	第7回集まれ！ふくしま子ども大使	平成31年6月～令和2年3月
ふくしま100年基金	採択	令和元年10月	令和元年10月	200,000	200,000	台風19号関連活動	令和元年11月～令和2年3月
朝日新聞厚生文化事業団	採択	令和元年10月	令和2年2月	203,050	203,050	台風19号関連活動	令和2年2月～令和3年12月
平成2年度分助成申請実績							
助成名称	採否	申請	決定	申請金額	決定金額	助成申請内容	助成期間
日産スマイルサポート基金	採択	令和元年10月	令和元年12月	1,500,000	1,500,000	第7回ふくしま子どもネイチャリングキャンプ、フリースペース・学習支援活動	令和2年1月～令和2年12月
キリン福祉財団 キリン地域の力応援事業	採択	令和元年10月	令和2年3月	300,000	300,000	復興公営住宅での活動	平成2年4月～令和3年3月
大阪コミュニティ基金	採択	令和元年11月	令和元年3月	500,000	500,000	第8回集まれ！ふくしま子ども冬大使	平成2年4月～令和3年3月
ノエビアグリーン財団助成	採択	令和2年2月	令和2年4月	2,000,000	2,000,000	第8回集まれ！ふくしま子ども冬大使	平成2年5月～令和3年4月
中日新聞助成金	不採択	令和2年3月	—	1,500,000	—	第7回ふくしま子どもネイチャリングキャンプ	—
「ふくしま未来基金」まちづくり草の根助成	結果待	令和2年4月	(令和2年7月) ※コロナのため遅延	1,000,000	現在未定	第8回集まれ！ふくしま子ども冬大使	(令和2年7月～令和3年3月)
NHK厚生文化事業団わかば基金	結果待	令和元年3月	(令和2年8月) ※コロナのため遅延	850,000	現在未定	学生DASH村	(令和2年8月～令和3年3月)

☆大学祭への出店

11月3日・4日と今年も大学祭へ出店することができました。お店は「焼き鳥屋」です。

災ボラの経験を活かした、炭火焼きの焼き鳥は今年も大変好評でした。ふだんお付き合いを深めている復興公営住宅の人たちも顔を出してくれました。

※売上金 147,501 円

☆その他

- ・「災害ボランティアセンターDays」のところで書きましたが、災ボラ定番の芋煮を投げ銭方式で振る舞いました。

※ご厚志金 20,424 円

- ・災ボラポロシャツ、ブルゾンの販売

主には災ボラのユニフォームとして販売していますが、中には被災者の希望で購入される方がいます。

※ポロシャツ @2,500 円 13 着、ブルゾン @3,000 円 3 着 計 41,500 円

(18) 外部団体との連携

☆県外学生との協働調整ネットワーク

台風19号の活動に関して、東北大学東日本大震災ボランティア支援室及び神戸大学と支援のプラットフォームを形成して、丸森町仮設住宅の連携活動を行いました。このプラットフォームでの活動は令和2年度にも継続されています。

☆県外大学等のボランティア協働活動・要請の受け皿

活動型・イベント型での他大学協働活動は少なくなっていますが、大学関係でのヒアリングの申し入れはコンスタントに連絡があります。それらを含めた他大学からの依頼を受けたものは以下の通りでした。

- ・6月 8日：関西大学橋口ゼミの取材
- ・11月6日：関西大学古川ゼミの取材
- ・11月11日：静岡県立大学ボランティアセンター準備室からのヒアリング
- ・11月23日 東京大学大学院情報学環研究生のヒアリング
- ・1月11日～13日：同志社大学ボランティア支援室からの依頼を受け、台風19号でのボランティア活動の日程調整を行い、家の片付け作業と内郷コミュニティセンター避難所での活動を協働で行った。

☆各ボランティアセンター、行政との連携

台風19号で各市町社会福祉協議会との連絡調整を密に行いました。

福島市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、いわき市、相馬市、丸森町各社協

(19) 広報活動に関して

☆英語版HPの作成

ここ数年、計画されてきたけど、なかなか着手してこなかった英語でのホームページを6年ぶりにリニューアルしました。以前、英語版のHPをきっかけに、カナダバンクーバー日本人会、イスラエルの個人からのご寄付をいただいたことがありました。世界をはじめ、日本に在住の外国籍の方や留学生にも私たちの活動内容を伝えていくサイトになるように、更新も含め取り組んでいきたいと思います。

☆学内災ボラ掲示コーナー

平成30年度から行われていた福大S棟の耐震工事が終了したため、S棟学生・留学生支援課前のホールにあった、災ボラ掲示板を再開しました。ネット上の情報発信だけでなく、学内の往来の中で災ボラ情報を日常に目にすることができるようにしています。災ボラへの登録方法は恒常的に掲示していますが、以下のような内容で掲示を作成しました。

- ・ 掲示板再開 5月29日 「福茶サロン」の特集、学生DASH 村の四季サロン
- ・ 掲示板更新 6月28日 「学習支援」の特集
- ・ 掲示板更新 11月12日 「台風19号」の特集
- ・ 掲示板更新 2月14日 「冬の季節活動」の特集

☆メディア掲載履歴

- ・ 朝日新聞 8月30日掲載 「県外小学生を福島に招待するキャンプ 7回目」
- ・ 福島民友新聞 11月14日掲載 「台風19号ボランティア」
- ・ NHK第1ラジオ 12月7日 放送 「NHK東日本大震災音声アーカイブス～あれから、そして未来へ～」 ※内容は台風19号関係
- ・ いわき民報 12月22日掲載 「内郷コミュニティセンターでの活動」
- ・ 福島民報 12月30日掲載 防災・減災キャンペーン「私たちからはじめる防災アクション」座談会
- ・ ラジオ福島 12月30日放送 年末特別番組 防災・減災キャンペーン「私たちからはじめる防災アクション」座談会
- ・ 福島民報特刊(第2朝刊) 1月1日掲載 「希望をつなぐ」 災害支援
- ・ 福島民友 1月1日掲載
- ・ BSテレビ東京 2月1日放送 「羽田土曜会」

(20)その他

☆災害ボランティアセンターOB・OGの会設立へ（新規）

福島大学在学時、災ボラ活動経験者を中心とした会員組織の設立に向けて、歴代の統括マネージャー（GM）21名が発起となって6月ミーティングが持たれました。

会の趣旨は、①災ボラ卒業生内での親睦を続ける、②災ボラ卒業生の現在の活力にする、③現役学生の活動への助言活動をする、④災ボラの安定した財政支援をする、⑤現役学生との協働活動・協働参加を促す、⑤その他、会として社会貢献に努める、といった内容で話し合われました。会の実働は、2020年からという目標になりました。

現役のGM3名もその集まりに同席し、現在の活動状況や財政状況を紹介させていただきましたが、錚々たる歴代GMの多くが揃い、わきあいあいとした雰囲気でした。



2. 平成31年度・令和元年度の活動一覧

黄色網掛けは、スタッフ対応活動

日付	活動場所	活動内容	人数
4月5日(金)	田村市都路地区	学生 DASH 村：拠点整備	4名
4月6日(土)	復興公営住宅飯坂団地	お花見会	5名
4月10日(水)	福大 S 棟前広場	サークルオリエンテーション	—
4月13日(土)	復興公営住宅吹上団地	お花見会	6名(うち1名卒業生)
	田村市都路地区	学生 DASH 村：第1回四季サロン	5名
	新地町釣師浜地区防災緑地	ハーブガーデン作り	4名
4月14日(日)	安達老人福祉センター	復興公営住宅石倉団地お花見会	5名
	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもの時間	4名
4月15日(月)	福大 S 棟教室	学生団体合同説明会	—
4月16日(火)	金谷川集会所	新入生歓迎活動オリエンテーション	(162名参加)
	大阪商工会議所	大阪コミュニティ基金贈呈式	1名
4月17日(水)～ 23日(火)	福大生協前広場	ボランティア保険加入 week	—
4月18日(木)	福島大学災ボラセンター	新しい拠点への引っ越し	—
4月20日(土)	花見山公園	復興公営住宅飯坂団地春の遠足	13名
	田村市都路地区	学生 DASH 村：拠点農地草刈り	9名
	復興公営住宅北沢又団地	福茶サロン：花より団子 SP	7名(うち1名卒業生)
4月23日(火)	富岡町さくらサロン	味の素料理教室	1名
	復興公営住宅石倉団地	学習支援	4名
	なみえ創成小学校・中学校	放課後なみえ子どもクラブ学習支援	2名
4月24日(水)	田村市都路地区	学生 DASH 村：フリーサロン	7名
	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	3名
4月27日(土)	復興公営住宅北中央団地	福茶サロン	7名
4月28日(日)	復興公営住宅北沢又第二団地	福茶サロン	6名
5月1日(水)	田村市都路地区	学生 DASH 村：拠点看板壁画作成	3名
5月3日(金)	田村市大越町	ひまわり里親プロジェクト：ひまわり 種植え、ひまわり結婚式	7名
5月4日(土)	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン・健康体操	4名
5月7日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	5名
5月11日(土)	浪江小学校二本松仮校舎(旧下 川崎小学校)	浪江小・津島小学校最後の運動会	7名
	田村市都路路政局	学生 DASH 村：災ボラ顧問鈴木典夫 先生の地域づくり講演会	7名

5月12日(日)	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもの時間	6名
5月14日(火)	富岡町さくらサロン	味の素料理教室	2名
5月15日(水)	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	4名
	田村市都路地区	学生 DASH 村：フリーサロン	6名
	福大M棟教室	夏の活動(キャンプ等)説明会	—
5月17日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	5名
5月18日(土)	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン、健康体操	6名
	田村市都路地区	学生 DASH 村：畑作業	7名
5月19日(日)	復興公営住宅北沢又第二団地	福茶サロン：たこ焼きパーティー	9名
5月21日(火)	なみえ創成小学校・中学校	放課後なみえ子どもクラブ学習支援	3名
	復興公営住宅石倉団地	学習支援	4名
5月24日(金)	田村市都路地区	地域福祉チーム in 都路	22名
5月25日(土)	福島市立松陵中学校	足湯講座	4名
	復興公営住宅北中央団地	福茶サロン	7名
	田村市立都路小学校	学生 DASH 村：都路小学校運動会	5名
	復興公営住宅北沢又団地	健康体操	7名
5月26日(日)	米沢市	田んぼアート@米沢	4名
	新地町釣師浜地区防災緑地	ハーブ100人ワークショップ	8名
5月29日(水)	田村市都路地区	学生 DASH 村：フリーサロン	6名
	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	4名
	復興公営住宅表団地	学生食堂	4名
	福島市コラッセ福島	ふくしま未来基金助成 2次審査プレゼンテーション	1名
6月1日(土)	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン：足湯、健康体操	7名
6月2日(日)	田村市都路地区	学生 DASH 村：歌声ゆうこの会	4名
6月4日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	5名
6月5日(水)	復興公営住宅北沢又第二団地	学習支援	4名
6月7日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	5名
6月8日(土)	福島大学災ボラセンター	関西大学橋口ゼミ取材	5名
	復興公営住宅北中央団地	健康体操	8名
	福島市内喫茶店	災ボラ歴代 GM ミーティング	3名
6月9日(日)	田村市都路地区	学生 DASH 村：拠点整備	6名
	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもの時間	5名
6月12日(水)	田村市都路地区	学生 DASH 村：拠点ペンキ塗り	6名
6月15日(土)	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン、健康体操	5名
	復興公営住宅北沢又団地	福茶サロン：ピンポン大会	5名
6月16日(日)	田村市都路地区	学生 DASH 村：手づくり音楽祭	7名
6月18日(火)	富岡町さくらサロン	味の素 AGF コーヒー教室	2名
	復興公営住宅石倉団地	学習支援	7名

6月19日(水)	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	5名
	なみえ創成小学校・中学校	放課後なみえ子どもクラブ学習支援	4名
	復興公営住宅表団地	学生食堂	4名
6月21日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	7名
	ラコパふくしま	ふくしま未来基金助成贈呈式	1名
6月22日(土)	復興公営住宅北沢又第二団地 他	土湯旅行(女沼、つつじ公園、佐藤梨園ローズガーデン)	4名
6月23日(日)	南相馬市小高区	南相馬市小高区復興ボランティア: 草刈り	4名
	田村市都路地区	学生DASH村:チラシ配り	4名
6月26日(水)	田村市都路地区	学生DASH村:フリーサロン	5名
6月27日(木)	福島市サンパレス福島	国際ソロプチミスト福島寄付贈呈式	1名
6月29日(土)	復興公営住宅吹上団地	健康体操	7名
6月30日(日)	田村市都路地区	学生DASH村:七夕飾り	6名
7月3日(水)	復興公営住宅北沢又第二団地	学習支援	2名
7月5日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	5名
7月6日(土)	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン、健康体操	1名
	田村市都路地区	学生DASH村:拠点看板壁画作業	3名
7月7日(日)	新地町釣師地区防災緑地	ハーブガーデン手入れ、お茶会	4名
	米沢市サクランボ果樹園等	米沢日帰り リフレッシュプロジェクト	8名
7月9日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	4名
7月10日(水)	田村市都路地区	学生DASH村:七夕用竹取り	2名
7月13日(土)	復興公営住宅北沢又第二団地	福茶サロン	4名
7月13日(土)～ 14日(日)	田村市都路地区	学生DASH村:第2回四季サロン と行司ケ滝遊歩道再開探索会	8名
7月14日(日)	復興公営住宅北沢又団地	福茶サロン:足湯	6名(うち1名卒業生)
	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもの時間:夏祭りSP	4名
7月16日(月)	富岡さくらサロン	ストロー工作	2名
7月17日(水)	復興公営住宅団地	学習支援	1名
	なみえ創成小学校・中学校	放課後なみえ子どもクラブ学習支援	2名
7月19日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	5名
	福島大学行政棟教室	マレーシア交流会	4名
7月20日(土)	復興公営住宅日和田団地	納涼祭	2名
	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン、健康体操	2名
7月21日(日)	田村市都路地区	学生DASH村:里山が見える丘公園 看板作成	2名
7月23日(火)	復興公営住宅団地	学習支援	4名

7月24日(水)	田村市都路地区	学生 DASH 村：拠点看板壁画作業	2名
7月27日(土)	復興公営住宅守山駅西団地	納涼祭	2名
	復興公営住宅北中央団地	福茶サロン、健康体操	6名
	復興公営住宅表団地	学生食堂	3名
7月28日(日)	復興公営住宅壁沢団地	夏祭り	3名
7月31日(水)	コラッセ福島	ふくしま未来フォーラム	1名
8月3日(土)	復興公営住宅北沢又第二団地	夏祭り	7名
8月3日(土)～ 4日(日)	グリーンパーク都路	学生 DASH 村：都路灯祭り設営、 キーホルダーづくりブース	5名
8月4日(日)	復興公営住宅表団地	夏祭り	3名
8月4日(日)～ 9日(金)	南相馬市小高小学校・小高交流 センター	南相馬市小高区学習支援・フリース ペース	57名(他大学 44名含)
8月7日(水)	田村市都路地区	学生 DASH 村：畑作業	3名
8月9日(金)～ 12日(月)	福島市土湯、土湯温泉ゲストハ ウス YUMORI、浪江町	第7回 集まれ!! ふくしま子ども大 使	16名(他大学 6名含)
8月10日(土)	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン、健康体操	2名
8月11日(日)	復興公営住宅吹上団地	夏祭り	4名
	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもの時間：水遊び	4名
	福大行政棟教室	福大オープンキャンパス展示と説明	4名
8月17日(土)	復興公営住宅石倉団地	夏祭り	4名
	復興公営住宅北沢又団地	夏祭り	4名
8月17日(土)～ 20日(火)	小野川湖レイクショア野外活 動センター	第5回ふくしまネイチャリングキ ャンプ	18名
8月18日(日)	復興公営住宅平沢団地	納涼祭	4名
8月21日(水)	復興公営住宅富田団地	福茶サロン：足湯	2名
8月22日(木)	田村市都路地区	学生 DASH 村：中学校学習支援 等	4名
8月23日(金)	なみえ創成小学校・中学校	放課後なみえ子どもクラブ：肉多め の焼きそばづくり	2名
8月24日(土)	復興公営住宅北中央団地	健康体操	3名
8月25日(日)	南相馬市南町団地	夏祭り	3名
8月28日(水)	田村市都路地区	学生 DASH 村：中学校学習支援	5名
8月31日(土)	田村市都路地区	学生 DASH 村：フリーマーケットと ナイトシアター	6名
9月3日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	2名
9月6日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	3名
	福島市青少年会館	県北復興公営住宅自治組織連絡会	1名
9月7日(土)	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン、健康体操	3名
	復興公営住宅北沢又第二団地	福茶サロン	4名
9月8日(日)	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもの時間	3名

9月9日(月)	福島大学行政棟大会議室	大分県立佐伯鶴城高校SSH研修会	10名
9月10日(火)	田村市都路地区	学生DASH村:拠点整備	4名
9月11日(水)	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	4名
9月14日(土)	復興公営住宅北中央団地	福茶サロン	3名
	復興公営住宅北沢又団地	福茶サロン	4名
9月15日(日)	南相馬市小高区	南相馬市小高区災害復興ボランティア:草木の伐採	4名
	田村市都路中学校・都路地区	学生DASH村:敬老会サポートと拠点大掃除	2名
9月17日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	4名
9月18日(水)	復興公営住宅日和田団地	一閑張り教室	2名
9月20日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	4名
9月21日(土)	復興公営住宅飯坂団地	健康体操	2名
9月24日(火)	浪江町権現堂集会所	健康体操	5名
9月25日(水)	田村市都路地区	学生DASH村:フリーサロン	5名
	仙台ガーデンシティ PREMIUN 仙台西口	日産スマイルサポート基金中間報告会発表	2名
9月26日(木)	復興公営住宅石倉団地	健康体操	2名
	福島大学災ボラセンター	国際ソロプチミスト福島ヒアリング	3名
9月27日(金)	復興公営住宅表団地	学生食堂	2名
9月28日(土)	田村市都路認定こども園	学生DASH村:認定子ども園ミニ運動会	3名
9月29日(日)	仙台市利府新幹線基地、うみの杜水族館	社会科見学 with なみえ	3名
	米沢市	アースウォーカーズ米沢稲刈り	2名
10月4日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	1名
10月5日(土)	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン:芋煮、健康体操	4名
	なみえ創成小学校・中学校・なみえにじいろこども園	合同運動会	6名
10月6日(日)	復興公営住宅吹上団地	福茶サロン	4名
10月9日(水)	田村市都路地区	学生DASH村:芋の収穫	6名
10月13日(日)	本宮市	台風19号災害支援ボランティア	3名
10月15日(火)	十六沼公園	13団地合同グラウンドゴルフ交流会	3名
10月16日(水)	福島市杉妻・黒岩付近	台風19号災害支援ボランティア	16名
	須賀川市	台風19号災害支援ボランティア	17名
	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	4名
10月17日(木)	福島市	台風19号災害支援ボランティア	17名
10月18日(金)	本宮市	台風19号災害支援ボランティア	50名
	相馬市	台風19号災害支援ボランティア	8名

	須賀川市	台風 19 号災害支援ボランティア	2 名
	福島市	台風 19 号災害支援ボランティア	5 名
	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	3 名
10 月 19 日 (土)	伊達市梁川地区	台風 19 号災害支援ボランティア	8 名
	復興公営住宅飯坂団地	福茶サロン、健康体操	2 名
	田村市都路地区	学生 DASH 村	6 名
	復興公営住宅北中央団地	芋煮会	5 名
10 月 20 日 (日)	本宮市	台風 19 号災害支援ボランティア	35 名
	伊達市梁川地区	台風 19 号災害支援ボランティア	29 名
	米沢市最上川河川敷	芋煮会	3 名
	復興公営住宅守山駅西団地	芋煮会	3 名
	復興公営住宅平沢団地	芋煮会	2 名
	復興公営住宅石倉団地	芋煮会	4 名
10 月 22 日 (火)	相馬市・丸森町	台風 19 号災害支援ボランティア	5 名
10 月 23 日 (水)	田村市都路地区	学生 DASH 村：フリーサロン	4 名
	復興公営住宅表団地	学生食堂	2 名
10 月 24 日 (木)	復興公営住宅石倉団地	カーレット大会	2 名
10 月 25 日 (金)	丸森町	台風 19 号災害支援ボランティア	9 名
	梁川寿健康センター避難所	台風 19 号避難所足湯、傾聴活動	12 名
10 月 26 日 (土)	復興公営住宅北沢又団地	福茶サロン	3 名
	本宮市	台風 19 号災害支援ボランティア	19 名
	南相馬市	台風 19 号災害支援ボランティア	8 名
	田村市都路地区	学生 DASH 村：第 3 回四季サロン	7 名
10 月 27 日 (日)	郡山市	台風 19 号災害支援ボランティア	17 名
	須賀川市	台風 19 号災害支援ボランティア	19 名
	復興公営住宅横堀平団地	芋煮会	3 名
10 月 28 日 (月)	相馬市	台風 19 号災害支援ボランティア	5 名
10 月 29 日 (火)	本宮市	台風 19 号災害支援ボランティア	9 名
	富岡町さくらサロン	味の素料理教室	3 名
10 月 30 日 (水)	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	4 名
10 月 31 日 (木)	丸森町	台風 19 号災害支援ボランティア	20 名
11 月 1 日 (金)	郡山市	台風 19 号災害支援ボランティア	13 名
	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	3 名
11 月 2 日 (土)	伊達市梁川地区	台風 19 号災害支援ボランティア	7 名
	福島大学	福大祭	21 名
	福島大学 L 棟教室	ホームカミングデイ：台風 19 号支援活動報告	2 名
11 月 3 日 (日)	福島大学	福大祭	15 名
	丸森町	台風 19 号災害支援ボランティア	7 名

11月4日(月)	丸森町	台風19号災害支援ボランティア+足湯	9名
11月6日(水)	郡山市	台風19号災害支援ボランティア	3名
	福大事務棟会議室	福大定例記者会見	2名
	福島大学災ボラセンター	関西大学古川ゼミインタビュー	3名
11月7日(木)	郡山市 ミューカルがくと館	県中復興公営住宅自治組織連絡会	1名
	富岡町さくらサロン	太巻き教室	2名
11月8日(金)	梁川寿健康センター避難所	台風19号災害支援ボランティア+足湯	3名
11月9日(土)	丸森町	台風19号災害支援ボランティア	10名
	田村市都路地区	学生DASH村	5名
11月10日(日)	南相馬市小高区	南相馬市小高区復興ボランティア：草刈り	5名
	丸森町	台風19号災害支援ボランティア+足湯	28名
11月11日(月)	福島大学災ボラセンター	静岡県立大学ボランティアセンター準備室からのヒアリング	3人
11月12日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	3名
	浪江町権現堂集会所	健康体操	2名
11月13日(水)	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	4名
11月15日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	2名
11月16日(土)	飯館村宿泊体験館きこり	浪江こどもまつり	2名
	復興公営住宅飯坂団地	健康体操	4名
	新地町釣師浜地区防災緑地	ハーブオイル・ランチョンマットづくりワークショップ、震災年表作りワークショップ	2名
	復興公営住宅北沢又第二団地	福茶サロン	4名
	復興公営住宅吹上団地	芋煮会	3名
11月17日(日)	丸森町	台風19号災害支援ボランティア+足湯	6名
	田村市都路地区	学生DASH村	5名
	富岡町さくらサロン	芋煮会	4名
11月18日(月) ~22日(金)	福島大学生協前	台風19号における保険代徴収	13名
11月19日(火)	浪江町権現堂集会所	健康体操・芋煮会	4名
	グリーンパーク都路	つながり日和	4人
11月20日(水)	復興公営住宅表団地	学生食堂	3名
11月23日(土)	復興公営住宅北中央団地	健康体操	4名
	復興公営住宅北沢又団地	福茶サロン	6名

	福島大学災ボラセンター	東京大学大学院情報学環研究生からの活動ヒアリング	1名
11月24日(日)	丸森町	台風19号災害支援ボランティア	3名
	田村市都路地区	学生DASH村：拠点整備	6名
11月26日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	6名
11月27日(水)	田村市都路地区	学生DASH村：都路のかつてのにぎわいを聞く会	3名
	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	4名
11月28日(木)	復興公営住宅石倉団地	お茶会	2名
11月30日(土)	万世コミュニティセンター	米沢クリスマス会	3名
	丸森町まちづくりセンター避難所	台風19号災害支援ボランティア：足湯	3名
12月3日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	5名
12月4日(水)	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	3名
12月6日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	3名
12月7日(土)	復興公営住宅飯坂団地	健康体操	3名
	小高ぷらっとほーむ	浪江子どもまつり in 小高	3名
12月8日(日)	復興公営住宅守山駅西団地	クリスマス会・望年会	2名
12月10日(火)	富岡町さくらサロン	味の素料理教室	1名
12月11日(水)	田村市都路地区	学生DASH村	2名
12月12日(木)	復興公営住宅日和田団地	クリスマス会	2名
12月12日(木) ～13日(金)	福大生協前広場	災害ボランティア Days	15名
12月14日(土)	復興公営住宅北中央団地	福茶サロン、健康体操	7名(うち1名卒業生)
	安達老人福祉センター	復興公営住宅石倉団地望年会	4名
	丸森町館矢間小学校避難所 まちづくりセンター避難所	足湯	4名
	田村市都路地区	学生DASH村	4名
	ラジオ福島スタジオ	防災・減災キャンペーン「私たちからはじめる防災アクション」座談会収録	1名
12月15日(日)	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもクリスマス会	8名
	コムコム、リンゴ果樹園 等	福島市へ行こう！with 浪江	4名
12月17日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	2名
12月18日(水)	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	3名
12月19日(木)	復興公営住宅石倉団地	お茶会	1名
	いわき市内郷コミュニティセンター避難所	台風19号避難所見聞	2名
12月20日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	2名

12月21日(土)	いわき市内郷コミュニティセンター避難所	足湯	3名
	復興公営住宅飯坂団地	健康体操	5名
	復興公営住宅北沢又団地	福茶サロン：お楽しみケーキ作り	6名
12月22日(日)	復興公営住宅吹上団地	クリスマス会	4名
	復興公営住宅北沢又第二団地	クリスマス会	3名
	田村市都路地区	学生DASH村：拠点掃除	4名
12月24日(火)	二本松市ラ・ポートあだち	復興公営住宅根柄山団地・石倉団地・表団地合同クリスマス会	6名
	富岡町さくらサロン	クリスマス会	4名
12月24日(火)～28(土)	南相馬市小高小学校・小高交流センター	南相馬市小高区学習支援・フリースペース	47名(他大学等34名含)
12月25日(水)	田村市都路地区	学生DASH村：フリーサロン	4名
12月26日(木)	復興公営住宅表団地	学生食堂	4名
12月28日(土)	復興公営住宅横堀平団地	餅つき会	3名
12月29日(日)	いわき市内郷コミュニティセンター避難所	台風19号避難所足湯、避難所クッキング	9名
12月31日(火)	いわき市内郷コミュニティセンター避難所	いっしょに年越し	2名
1月3日(金)	いわき市内郷コミュニティセンター避難所	台風19号避難所クッキング	4名
1月4日(土)	復興公営住宅飯坂団地	健康体操	1名
1月8日(水)	丸森町	仮設でのニーズ聴取	2名
1月12日(日)	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもの時間	3名
	いわき市内郷コミュニティセンター避難所	泥かき活動 台風19号避難所クッキング	10名(他大学等4名含)
1月14日(火)	富岡町さくらサロン	味の素料理教室	2名
	復興公営住宅石倉団地	学習支援	3名
1月15日(水)	復興公営住宅日和田団地	親睦会	1名
	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	2名
1月17日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	2名
	いわき市内郷コミュニティセンター避難所	台風19号避難所クッキング	5名
1月18日(土)	田村市都路地区	学生DASH村	3名
	復興公営住宅飯坂団地	健康体操	3名
	復興公営住宅北沢又団地	餅つき会	4名
1月19日(日)	復興公営住宅吹上団地	新年会	2名
	復興公営住宅守山駅西団地	新年会	3名
	富岡町さくらサロン	新年会	5名

	復興公営住宅表団地	餅つき会	3名
	復興公営住宅平沢団地	新年会	3名
1月23日(木)	郡山市中央公民館	県中復興公営住宅自治組織連絡会	1名
	福島大学災ボラセンター	NIPPON IT チャリティ 駅伝よりの 寄付贈呈式及びインタビュー	1名
	いわき市内郷コミュニティセ ンター避難所	台風19号避難所クッキング	4名
1月24日(金)	いわき市内郷コミュニティセ ンター避難所	台風19号避難所お茶会	3名
1月25日(土)	復興公営住宅北沢又第二団地	ちらし寿司パーティー	4名
	復興公営住宅北中央団地	新年会	7名
1月26日(日)	田村市都路地区	学生DASH村	2名
1月28日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	3名
1月29日(水)	田村市都路地区	学生DASH村	2名
	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	2名
	復興公営住宅表団地	学生食堂	3名
2月1日(土)	田村市都路地区	学生DASH村：第4回四季サロン	5名
	復興公営住宅飯坂団地	健康体操	5名
2月2日(日)	新地町釣師浜地区防災緑地	震災年表づくりワークショップ	2名
	福島環境創造センター交流棟 (福島コミュタン)	第3回福島県環境創造シンポジウム パネル展示と解説	2名
	復興公営住宅石倉団地	手巻き寿司交流会	1名
2月4日(火)	復興公営住宅石倉団地	学習支援	2名
2月7日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	2名
2月9日(日)	復興公営住宅桑折駅前団地	子どもの時間	3名
2月10日(月)	いわき市内郷コミュニティセ ンター	避難所同窓会	5名
2月12日(水)	田村市都路地区	学生DASH村	3名
2月13日(木)	仙台ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口	日産スマイルサポート基金助成完了 報告会発表	1名
2月14日(金)	飯舘村	バレンタイン顔見知り訪問	2人
2月15日(土)	復興公営住宅北沢又団地	福茶サロン	3名
	復興公営住宅飯坂団地	健康体操	4名
2月17日(月)	福島大学学長室	福島大学台風19号義援金より活動資 金贈呈式及び学長懇談	2名
2月19日(水)	福島大学災ボラセンター	いわき市議台風19号活動のヒアリン グ	2名
2月21日(金)	復興公営住宅桑折駅前団地	学習支援	2名
	復興公営住宅飯坂団地	お散歩隊	2名

2月22日(土)	復興公営住宅北沢又第二団地	福茶サロン	4名
	米沢スキー場他	米沢リフレッシュプロジェクト	3名
	田村市都路地区	学生DASH村	2名
	※いわき市平第四小学校	所沢西高校台風19号慰問吹奏楽演奏	(コロナ中止)
2月23日(日)	復興公営住宅表団地	手巻き寿司作り	5名
2月25日(火)	浪江町権現堂集会所	健康体操	5名
	復興公営住宅石倉団地	学習支援	2名
2月26日(水)	田村市都路地区	学生DASH村：フリーサロン	3名
	復興公営住宅表団地	学生食堂	3名
	復興公営住宅北沢又団地	学習支援	4名
2月27日(木)	復興公営住宅石倉団地	石倉団地絆祭り	3名
2月28日(金)	丸森町仮設住宅6か所	台風19号仮設住宅ニーズ聞き取りお散歩隊	1名
2月29日(土)	復興公営住宅北中央団地	福茶サロン	6名
3月3日(火)	※東北大学	他大学招へいボランティアツアー&セミナー	(コロナ中止)
3月10日(火)	※福島市A O Z (アオウゼ)	第165回復興支援フォーラム発表	(コロナ中止)
3月11日(水)	※東京ミッドタウン	和紙キャンドルガーデン —TOHOKU2020—	(コロナ中止)
3月14日(土)	飯館村	声掛け顔見知り訪問	2名
	浪江・双葉・大熊・富岡町帰還困難地区	特定復興再生拠点区域見聞 JR常磐線全線復旧：再開区間乗車	4名
3月21日(土)	※福島大学M棟教室	甲府東高校研修会	(コロナ中止)
3月22日(日)	双葉町、大熊町	特定復興再生拠点区域踏査	4名

活動日：年間 219 日 活動数：342 活動 延べ参加者：1,743

人

(昨年は、活動日：年間 228 日 活動数：295 活動 延べ参加者：1,329 人)

3. 平成31年・令和元年度マネージャー一覧

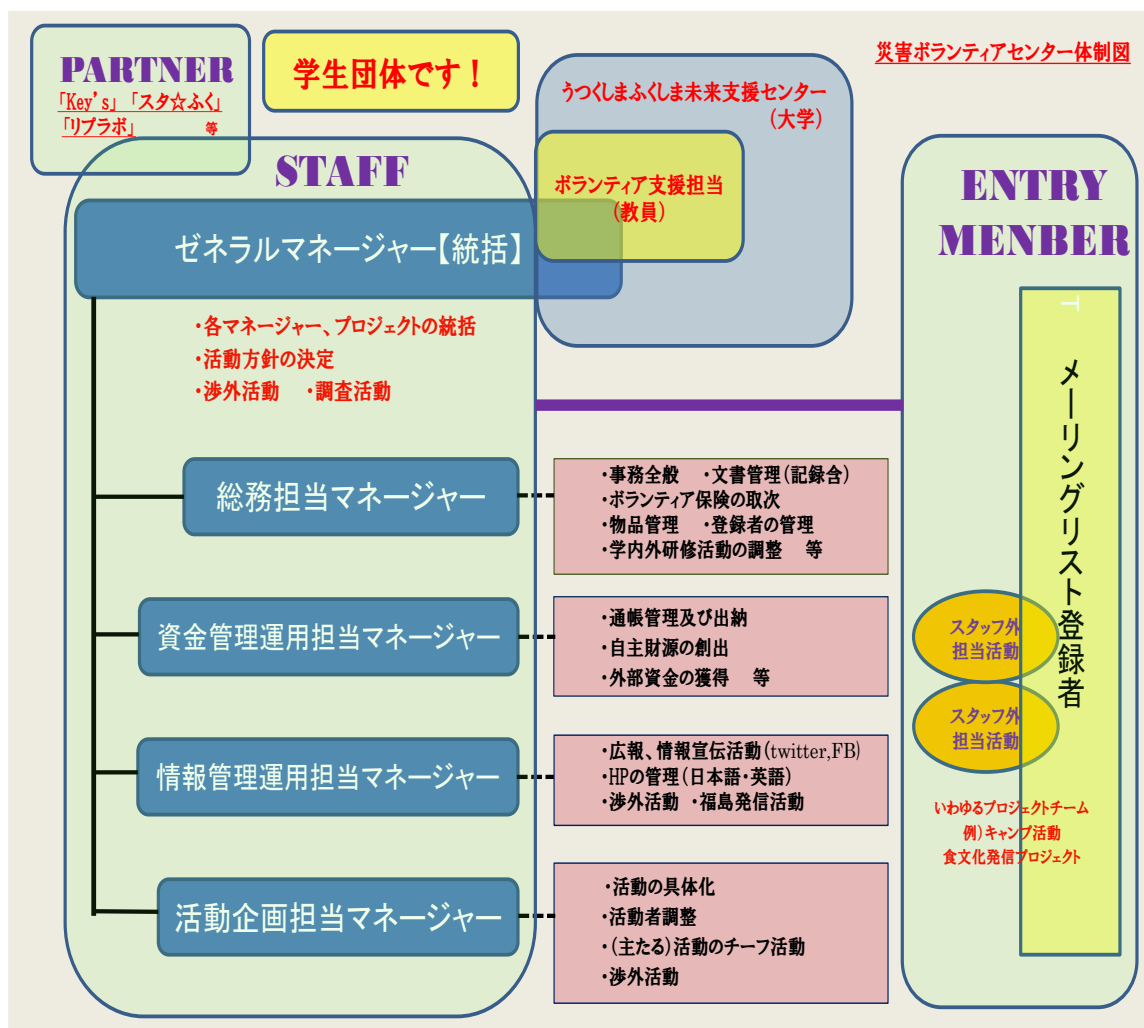
	名前	学類	学年
顧問	鈴木 典夫	行政政策	教員
統括マネージャー【代表】	坂本 奨	行政政策	4
〃	菅野 はる菜	人間発達	4
〃	前田 悠	行政政策	3
活動企画担当マネージャー【チーフ】	竹内 瑛祐	経済経営	2
〃 【サブチーフ】	本郷 う野	行政政策	4
〃	工藤 千陽	行政政策	4
〃	豊岡 つかさ	行政政策	4
〃	赤田 風夏	経済経営	2
〃	池田 健太	経済経営	2
〃	林崎 雪音	行政政策	2
〃	菅野 美南	行政政策	1
〃	小坂 泰河	経済経営	1
総務担当マネージャー 【チーフ】	長尾 萌	経済経営	3
〃 【サブチーフ】	阿部 真樹	経済経営	2
〃	赤崎 成俊	行政政策	4
〃	斉藤 亮太	経済経営	4
〃	高坂 夏美	人間発達	4
〃	高橋 春奈	人間発達	2
〃	齋藤 環	人間発達	2
〃	渡部 有南	行政政策	1
資金管理運用担当マネージャー【チーフ】	栗原 祐樹	経済経営	2
〃 【サブチーフ】	立川 大貴	経済経営	2
〃	補永 直樹	人間発達	2
〃	渡辺 泰生	経済経営	1
〃	宮城 佳奈	経済経営	1
情報管理運用担当マネージャー 【チーフ】	川村 美月	行政政策	3
〃 【サブチーフ】	伊野 優雅	経済経営	2
〃	川島 史奈	経済経営	4
〃	松浦 明日美	経済経営	1

プロジェクトチーム

ネイチャリングキャンプ 【リーダー】	山田 椋大	行政政策	2
〃 【サブリーダー】	山田 晃久	経済経営	2
〃 【サブリーダー】	佐藤 南果	人間発達	2

子ども大使キャンプ	【リーダー】	前田 悠	行政政策	3
〃	【サブリーダー】	竹内 瑛祐	経済経営	2
〃	【サブリーダー】	斉藤 亮太	経済経営	4
学生DASH村	【ディレクター】	池田 健太	経済経営	2
〃		豊岡 つかさ	行政政策	4
〃		小坂 泰河	経済経営	1
食文化発信プロジェクト	【シェフ】	大泉 晃平	経済経営	4

＜組織図＞



おわりに

ゼネラルマネージャー 前田

悠

(行政政策学類3年)

2019年度活動報告書を最後まで読んでいただきありがとうございます。
ございます。

東日本大震災から今年で9年目を迎えました。避難所から仮設住宅へ、復興公営住宅、故郷、新たな土地へ。被災された方のコミュニティはこれまで何度も何度も変わってきました。そしてこれからも引っ越しをされる方が多くおられることでしょう。安定しない生活環境がまだまだ続いているように感じます。



そんな中、昨年10月に日本列島を台風19号が襲いました。福島県も多くの市町村で甚大な被害を受け、福島大学災害ボランティアセンターは発災翌日から動きました。東日本大震災から9年、現在の登録者は震災当時中学生、小学生だった学生がほとんどで、被災経験のある学生はそのうち数えるほどしかいません。水害が起こってから、今何をすべきか、私たちに何ができるかを模索し続けた数か月でした。

台風が起きたからといって、これまでの東日本大震災関連の活動が休みになることはありません。行ける人が行ける活動に行き、時には震災避難者と水害避難者が同じ空間でお茶会をしたこともありました。そこには、お互いに災害を経験しているからこそその言葉や態度があったように思います。

東日本大震災と今回の台風19号、私事ではありますが、どちらも災害当時福島県にはいませんでした。だから、被災経験のない私に被災者の気持ちが心の底から分かることはできません。でも、その過去や気持ちを理解しようと努力することは誰でもできていると思います。災害を経験された方一人ひとりと向き合い、団地の外でも、被災者と呼ばれなくなっても、ずっと長くつながるお付き合いをしたいです。

9年活動していても、学生だからできないことももちろんあると思います。でも、学生だからこそできること、学生にしかできないこともたくさんあると思います。私たちは、それを探していきます。これからも長く濃く、貪欲に活動していきます。

今年度も多くの方の支えがあり、私たちは活動を行うことができ、こうして活動報告書も作成することができました。お世話になったすべての方々に、心から御礼申し上げます。今後とも「(学生団体)福島大学災害ボランティアセンター」をよろしく願います。

